年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　教科　国語　科目　現代の国語

教　科：国語　科　目：現代の国語　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A・B・C:大西　燈）（D・E・F:清塚　彩菜）

使用教科書：東京書籍『現代の国語』

教科　国語　の目標：よりよく「読むJ」「書く」「聞く」「話す」ための基礎力育成の充実

【知識及び技能】	・段落や指示語、接続詞などに着目しながら、文章を的確に読みこなす。 ・文脈や論理構成を意識しながら、文章の骨子を把握する。
【思考力、判断力、表現力等】	・社会生活の中での他者との関わりをふまえ、思考する力・想像する力を伸ばし、伝え合う力を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】	・進んで情報を収集し、筆者の意見や描かれている事柄に対する理解を深めようとする。

科目　現代の国語　の目標：論理的に「読むJ」「書く」「聞く」「話す」ための基礎力の養成

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・段落や指示語、接続詞などに着目しながら、論理的な文章を的確に読みこなす。 ・論理構成を意識し、筆者の主張を適切に把握する。	・論理的に考える力や、他者への共感力・想像力を伸ばし、伝え合う力を高め、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする。	・進んで情報を収集し、筆者の意見に対する理解を深めようとする。 ・筆者の問題提起に対し、自分の考えを他に伝える形で表現する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	領域 書	領域 読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　視点を変える 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・粘り強く本文の要点を把握したり、比較をしたりしている。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『木を見る、森を見る』 『水の東西』 ・タイトルや具体例に注意して主張をとらえ、物事を多様な視点から見る姿勢を養う。 ・「水」をめぐる日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　視点を変える 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確にとらえ、用紙や要点を把握する。［C(1)ア］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・粘り強く本文の要点を把握したり、比較をしたりしている。	○	○	○	8
	単元　発想を広げ課題を見つけ 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・発想を広げて整理して、発表しようとしたり意見をまとめようとしたりする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「発想を広げて課題を見つける」 「新聞記事をもとに問をつくり、意見をまとめる」 ・読んだ文章から問をつくり、構成を工夫して意見をまとめる。 ・ＷＳ ・端末活用	○	○	○	単元　発想を広げ課題を見つけ 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・実社会の中から適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する。［A(1)ア］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・発想を広げて整理して、発表しようとしたり意見をまとめようとしたりする。	○	○	○	5
	定期考査									1
	単元　言葉へのまなざし 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりして、自分の考えを深める。 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の主張をふまえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『「身銭」を切るコミュニケーション』 『言葉は世界を切り分ける』 ・書かれている内容を理解し、用紙を読み深める。 ・他言語と比較することで言葉の意味のあり方を理解し、言葉に関心を持つ。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　言葉へのまなざし 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。［(1)ア］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりして、自分の考えを深める。［C(1)イ］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の主張をふまえ、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	10
	定期考査									1
	単元　メディアを考える 【知識及び技能】 ・必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章や図表などに含まれている情報を関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『広告の形而上学』 『時間と自由の関係について』 ・比喩に注意して、広告の奇妙さについて書かれた評論を読み、現代社会の特質について考える。 ・時間と自由の関係についての筆者の主張を読み取り、必要に応じて内容を要約する。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　メディアを考える 【知識及び技能】 ・必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。［(1)エ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章や図表などに含まれている情報を関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈する。［C(1)イ］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	7
	単元　情報を収集する 【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「メディアを適切に使い分けながら、情報を収集する」 「調べた情報を説明資料にまとめる」 ・情報を集めて整理し、考えを深める。 ・情報の信頼性を吟味し、伝える	○	○	○	単元　情報を収集する 【知識及び技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めている。［(2)エ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。［A(1)オ］	○	○	○	7

2学期	【学びに向かう力・人間性等】 ・各メディアの特徴について考えを深める。	・情報の信頼性を吟味し、伝える相手や目的に応じてまとめる。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用				【学びに向かう力・人間性等】 ・各メディアの特徴について考えを深めようとしている。				
	定期考査									1
	単元　共に生きる 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解したうえで自分の考えを深め、まとめる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『真の自立とは』 『自由と市場』 ・「自立」の在り方について考察する評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・比喩や具体例に注意して内容を読み取り、自立とそれを支えるものの関係について考えを深める。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　共に生きる 【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。［(1)オ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・内容や構成、論理の展開について叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。［C(1)ア］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解したうえで自分の考えを深め、まとめようとしている。	○	○	○	9
	単元　科学から見た人間 【知識及び技能】 ・必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章や図表などに含まれている情報を関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『生物の多様性とは何か』 『人工知能はなぜ椅子に座れないのか』・生物多様性について書かれた評論を読み、ヒトが自ら守るべき「分際」について考えを深める。・人工知能に関して人間と比較しながら論じた評論を読み、両者の違いについて考える。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　科学から見た人間 【知識及び技能】 ・必要な語句の量を増やし、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解している。［(1)エ］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・文章や図表などに含まれている情報を関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈する。［C(1)イ］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査									1
3学期	単元　時代・社会・人間 【知識及び技能】 ・実社会とのかかわりを考える読書の意義について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集整理して伝え合う内容を検討する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・歴史や社会について考えを深める。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『少女たちの「ひろしま」』 『ラップトップを抱えた「石器人」』・戦時下に生まれた人々の日常と悲劇に思いを巡らし、時代や社会について自分の考えを伝える。・リスク認識について学び、人類の限界について自分の考えを述べる。 ・ＷＳ・小テスト・端末活用	○	○	○	単元　時代・社会・人間 【知識及び技能】 ・実社会とのかかわりを考える読書の意義について理解を深めている。［(3)ア］ 【思考力・判断力・表現力等】 ・目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集整理して伝え合う内容を検討している。［A(1)ア］ 【学びに向かう力・人間性等】 ・歴史や社会について考えを深めようとしている。	○	○	○	14
	定期考査									1

合計
70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　教科　国語　科目　言語文化

教　科：国語　科　目：言語文化　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A・B・D：坂口）（C・E・F：清塚）

使用教科書：『新編　言語文化』大修館書店

教科　国語　の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　の目標：言葉を通して適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、表現することによって言語能力の向上と社会生活の充実を図る態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、 我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しんで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　古文に親しむ 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古文を読むことに興味をもち、積極的に音読したり響きやリズムを味わったりしようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 古文への招待 「いろは歌」「古文冒頭選」 ・古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・受け継がれてきた古文を音読し、響きやリズムを味わう。 ・教科書にあるＱＲコードを読み取り、音声教材を活用する。	○	○	○	単元　古文に親しむ 【知識及び技能】 ○漢字仮名交じり書きの本文を見て正しく音読している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○本文のおおまかな内容を理解している。 ○いろはカルタ・いろは坂などの例をふまえて、「いろは歌」の言語文化的意義を考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○音読や暗唱に進んで取り組もうとしている。	○	○	○	4
	単元　古文に親しむ 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・古文を読むことに興味をもち、登場人物の行動や心情を読み取ろうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「児のそら寝」 ・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。	○	○	○	単元　古文に親しむ 【知識及び技能】 ○歴史的仮名遣いを理解した上で、本文を正確に読んでいる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○児がそら寝をした理由を理解している。 ○なぜ僧たちは「笑ふことかぎりなし」だったのかを理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○作品に描かれる登場人物の行動や心情から、当時と現代との差異を考えようとしている。	○	○	○	5
	定期考査						○	○	○	1
	単元　ことばと出会う 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日常使っている言葉を見つめ直そうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「言葉の森を育てよう」 ・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 漢字と仮名の使い分け ・日本語の表記の特色について、筆者の主張をとらえる。 ・表記に興味をもち、調べたり考えたりする。	○	○	○	単元　ことばと出会う 【知識及び技能】 ○言葉が生まれる理由について理解している。 ○漢字、ひらがな、カタカナの使い分けが生み出す効果について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○随想の特徴をふまえ、本文が二段落で構成されていることがわかり、筆者の主張を理解している。 ○「言葉の森を育てよう」という題名の意味につい 【学びに向かう力・人間性等】 ○日本語の表記の特色や独自性について、筆者の主張を的確にとらえようとしている。	○	○	○	6
	単元　表現を味わう 【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味をもち、作品の構造を理解しようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「とんかつ」 ・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。	○	○	○	単元　表現を味わう 【知識及び技能】 ○方言に興味を持ち、関心のある地域の方言を調べたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○この親子にとって「とんかつ」を食べることにはどのような意味があるのか考えを深めている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○方言を使う人物の描写や登場が、他の作品でもあるかを探したり、調べようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1

2学期	単元 随筆を楽しむ 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・『枕草子』に興味をもち、作者のものの見方や感じ方を読み取り、自分の考えをもとうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『春はあけぼの』 ・音読して古文の読みに慣れ、文章の特色を理解する。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもつ。	○	○	○	単元 随筆を楽しむ 【知識及び技能】 ○重要古語について理解し、読解に活用している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○本文に表れた作者の季節感や自然観などを理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○作者の季節感、自然観について自分と比べ、考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	単元 物語を受け継ぐ 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『羅生門』 （参考『今昔物語集』巻第二九第一八） ・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品とふまえて、内容の解釈を深める。 ・教科書にあるＱＲコードを読み取り、音声教材を活用する。	○	○	○	単元 【知識及び技能】 ○新たな漢字の読み方を自覚しながら本文を音読し、ワークシート等で必要な漢字を用いている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○場面ごとに変化する下人の心情を読み取り、作品のテーマについて考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○比べ読みについて関心を抱き、読書への意欲を高めようとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○	○	1
	単元 物語の広がり 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまり、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力・人間性等】 ・作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 『伊勢物語』「筒井筒」「あづま下り」 ・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。	○	○	○	単元 物語の広がり 【知識及び技能】 ○和歌について、基本的な修辞技巧について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○和歌が恋愛の端緒となっていることを読み取っている。 ○それぞれの和歌の内容を理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○登場人物の気持ちが各場面でどのように変化しているのかを理解しようとしている。	○	○	○	6
	単元 ことばと生きる・近代文学に触れる 【知識及び技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・作品に興味をもち、場面の様子や人物の心情を想像したり文章表現を味わったりしようとする。 ・時代背景や歴史的事実に興味をもち	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「祖母が笑うということ」 ・叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 「コルベ神父」 ・文章の展開のしかたを的確にとらえる。 ・教科書にあるＱＲコードを読み取り、音声教材を活用する。 「夢十夜」 ・小説を読み味わう。	○	○	○	単元 ことばと生きる・近代文学に触れる 【知識及び技能】 ○　題名の意味について考えている。 ○コルベ神父の人物像と、当時の状況を理解し、「奇蹟」や「愛」について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○祖母が筆者に「この家にいる生き物は、全部おじいちゃん」と言った意味を読み取っている。 ○カチャーシーを踊る祖母の動きが、何に重ねられているかを読み取っている。 ○筆者がコルベ神父や、その行動に対して、どのような考えをもっていたのかを読み取っている。 【学びに向かう力・人間性等】 ○祖母が筆者に対して「泣きながら手を握ってくれる」のはなぜか読み取ろうとしている。 ○日常の「愛」について見つめ直そうとしている。	○	○	○	11
	定期考査						○	○	○	1
3学期	単元 漢文に親しむ 【知識及び技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力・人間性等】 ・漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 「訓読のきまり」「格言」「再読文字」 ・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 ・教科書にあるＱＲコードを読み取り、音声教材を活用する。	○	○	○	単元 漢文に親しむ 【知識及び技能】 ○日本語との語順の違いを理解している。 ○例文を音読でき、書き下し文に直すことができている。 【思考力・判断力・表現力等】 ○各文について内容を理解し、格言などを日常会話などで使う場面があることを理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 ○教材に興味をもって取り組み、漢文訓読のきまりを理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○	○	1
									合計	70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 地理歴史　科目 歴史総合

教　科：地理歴史　　科　目：歴史総合　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(A、C、D:村松)(B、E、F:西田)

使用教科書：帝国書院　明解　歴史総合

教科	地理歴史	の目標：	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。
【知識及び技能】			現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】			地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】			地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される自覚、自他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目	歴史総合	の目標：	・歴史的な見方・考え方を働かせた活動を通して、広い視野に立ち日本や他国の歴史を尊重し互いに協調する。 ・グローバル化する国際社会に平和的で民主的な視野をもち主体的に関わるために、自分の歴史的考察を表現できる。
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。		近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察・説明する力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本や他国の歴史と文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　歴史の扉 【知識及び技能】 身近な題材から、私たちの生活が、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な題材から近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化とかかわらせて、日本や世界の歴史との関係性について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な題材に対して歴史との関連を追究する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 歴史の扉	単元　歴史の扉 【知識及び技能】 生活に関わる制度や習慣について分析する際に、歴史的に構築されていることをふまえることが大切であることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 身近なことがらが、時間的な推移や空間的な結びつきの中で歴史と結びつきをもっていることを理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 身近な題材に対して歴史との関連を追究している。	○	○	○	6
	単元　近代化への問い 【知識及び技能】 資料を通して、18世紀以降の欧米諸国に着目し、工業化と交通通信手段の革新、世界市場の形成について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 諸資料から、欧米諸国とアジアをはじめとする他地域の相互的な関係について、多角的・多面的に考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 産業や交通の革新、権利意識や社会参加、国民の義務などに関する資料を活用し、見通しをもって学習に取り組もうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 近代化への問い ヨーロッパ経済の動向と産業革命 アメリカ独立革命とフランス革命 19世紀前半のヨーロッパ 19世紀後半のヨーロッパ 19世紀のアメリカ大陸	単元　近代化への問い 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、交通の発達や経済・貿易の拡大が近代化の重要な側面であることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、ヨーロッパ人の海外進出や工業化によるさまざまな革命、軍事技術の発展を考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、ヨーロッパにおける中央集権的な国家体制と、海外進出や資本主義の結びつきについて追及しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査	○		○	○		1
	単元　結びつく世界 【知識及び技能】 16世紀におけるアジア各地の大帝国の繁栄と交易の発達、琉球とアイヌが東アジアで果たした役割などを通し、江戸時代の日本の内外の政策について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 アジア各地に成立した大帝国と、清や江戸幕府の政治・経済政策の特徴について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 江戸時代の日本の対外政策を、東アジアからだけでなく、世界的な観点から再構築しようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム アジア諸地域の繁栄と日本 西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 中国の開港と日本の開国	単元　結びつく世界 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、開国前後の歴史を通し、開国を転換点として、江戸幕府と朝廷・諸大名の関係に変化が生じたことを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、開国によって世界と結びついたことによる江戸幕府や諸藩における知識・技術の需要と貿易の特徴を理解している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、開国前後や幕末の動乱について、輸出入品の比較や諸事件を整理しながら追求しようとしている。	○	○	○	6

	単元　明治維新と日本の立憲体 【知識及び技能】 明治新政府が諸外国と具体的にどのような関係を築こうとしたかをまとめ、諸制度と産業の発達過程と内容を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 明治新政府が導入した欧米からの新技術や諸制度の影響による、日本の内政と外交の動きの推移を考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 明治新政府の方針をとらえるとともに、論説や条約、法律、政府の国内外での活動を通して、当時の日本人が何を考え課題としていたのかについて追及している。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 明治維新と諸改革 明治初期の対外関係 自由民権運動と立憲体制	単元　明治維新と日本の立憲体制 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、明治新政府が制定した法律や締結した条約、画定した国境、それによって生じた国内外の出来事や影響を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、明治新政府の内外政策を通して、それぞれの背景や要因を多面的・多角的に考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 明治政府の方針や諸事件と人々の生活の変化を通し、社会にどのような変化がもたらされたのかについて追及している。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2学期	単元　帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 帝国主義のついて、イギリス・フランス・ドイツ・ロシア・アメリカの、それぞれの経済・政治上の動向をまとめ理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 帝国主義の生まれた背景や進展について、主要国の動向を考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 帝国主義の時代が世界の一体化を進めたことについて、過程・結果、現代にいたる影響について深く追及する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 国際関係の緊密化 アメリカ合衆国とソ連の台頭	単元　帝国主義の展開とアジア 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、自由・制限、開発・保全の観点から、諸資料から情報を適切かつ効果的にまとめ、現代的な諸課題に関わる近代化の歴史を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、自由・制限、開発・保全の観点から、国家間の関係や産業発展とそのひずみなどに着目し、諸資料を活用して、現代的な諸課題との関連を考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、自由・制限、開発・保全について、よりよい社会の実現を視野に、自分とのかかわりをふまえて学習を振り返るとともに、次の課題を追及している。	○	○	○	5
	単元　第一次世界大戦と大衆社 【知識及び技能】 第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、その影響による社会の変化を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 第一次世界大戦前後の各国における変化のあり方を、それぞれの国の当時の情勢から考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 第一次世界大戦前後の出来事や、戦後のアメリカの大量消費社会の成立が、日本の大衆文化につながっていくことを追及する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 第一次世界大戦とロシア革命 国際平和と安全保障 アジア・アフリカ地域の民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容 社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	単元　第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、第一次世界大戦の背景や経過と、前後の世界中における出来事を日本との相互関係も視野に入れながら理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、第一次世界大戦前後の各国における変化のあり方を、1920年代の国際協調路線の中で結ばれた条約や外交を通して考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、第一次世界大戦前後の民族運動や社会運動、アメリカの大衆文化の発達が日本や世界に及ぼした影響を追及している。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	単元　経済危機と第二次世界大 【知識及び技能】 世界恐慌やそれによる世界中の出来事、第二次世界大戦について、原因・過程・結果を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 世界恐慌から第二次世界大戦までの出来事について、各国の関係や日本と諸国との対立の背景について考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 世界恐慌から第二次世界大戦終結にいたるまでの諸国間のやりとりについて、内容を時系列に追求する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 世界恐慌の発生と各国の対応 ファシズムの台頭 日本の恐慌と満州事変 日中戦争と国内外の動き 第二次世界大戦と太平洋戦争	単元　経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、世界恐慌やそれによる世界中の出来事、第二次世界大戦について、原因・過程・結果を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、世界恐慌から第二次世界大戦までの出来事について、各国の関係や日本と諸国との対立の背景について考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、世界恐慌から第二次世界大戦終結にいたるまでの諸国間のやりとりについて、内容を時系列に追求する。	○	○	○	5
	単元　戦後の国際秩序と日本の 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際社会がどのようにして新たな国際秩序を構築したかを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 第二次世界大戦後の新しい国際秩序がどのようにできたのかを、占領と民主化政策、独立の経過と関連付けて考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 冷戦という新たな対立が起こった背景・過程・結果を追究する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と民主化 占領政策の転換と日本の独立	単元　戦後の国際秩序と日本 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、第一次世界大戦、第二次世界大戦をへて、国際社会は平和と安定をどのように構築していこうとしているかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、対立・協調、平等・格差、統合・文化の観点から、これまでの学習を振り返り、現代との関連を考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、日本の占領政策が、民主化政策から経済優先へと転換された理由・過程を、国際社会の動向をふまえて多面的・多角的に追究しようとしている。	○	○	○	11

	定期考査			○	○		1

３学期	単元　グローバル化と私たち 【知識及び技能】 グローバル化における国際社会への影響や、資源・エネルギーと地球環境をめぐる問題を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 諸資料から、情報通信技術の発達や、資源・エネルギー源の拡大や、地球環境の保全の在り方を考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 多様な人々が共存する社会の発展について、見通しをもって学習にとり組む姿勢をもつ。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 授業プリント リアクションフォーム 冷戦と世界経済 グローバル化する世界 現代の課題	単元　グローバル化と私たち 【知識及び技能】 授業プリントや考査に取り組み、世界のグローバル化にいたるまでの歴史的な経緯を知ることが、現在の課題解決や私たちの将来を構想するうえで大切であることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 授業プリントや考査に取り組み、現代的な諸課題を展望したりするなどをして、主題について考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 授業プリントや考査に取り組み、世界中の国々と日本の関係について、防衛強化の面、平和と安全の面といった多角的・多面的視点からより良い在り方を追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 数学　科目 数学Ⅰ

教　科：数学　　科　目：数学Ⅰ　　単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（ＡＢα，ＣＤα，ＥＦα:柏木)（ＡＢβ，ＣＤβ，ＥＦβ:北原)（ＡＢγ，ＣＤγ，ＥＦα:田村）

使用教科書：新編　数学Ⅰ（数研出版）

教科	数学	の目標：	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。		
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

科目	数学Ⅰ	の目標：	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元 第１章・数と式　第１節・式の計算 【知識及び技能】 整式に関する基礎的な用語を知る。また、整式の整理や基本的な計算、展開や因数分解の公式を身に付け、基本的な式変形を適切に行うことができるようになる。 【思考力・判断力・表現力等】 既に学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 【学びに向かう力・人間性等】 基礎的な計算を身に付け、さらに複雑な計算を見通しをもって計算することを通して、粘り強く効率的に問題解決しようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１章・数と式 第１節・式の計算 教材：教科書、問題集	単元 第１章・数と式　第１節・式の計算 【知識及び技能】 単項式や多項式に関する用語について知り、整式の加法・減法・乗法に関して公式等を利用して計算ができる。 因数分解の公式を理解し、工夫して計算することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 工夫することによって、効率的に式の展開をすることができる。 複雑な式についても、項の組み合わせや、式の形の特徴等に着目して因数分解の公式を効果的に活用して計算することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 整式の整理や計算について関心を持ち、考察しようとする態度を養う。 やや複雑な展開や因数分解についても、工夫して効率的に解決しようとする態度を養う。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	単元 第１章・数と式　第２節・実数 【知識及び技能】 数を実数まで拡張することの意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 既に学習した計算方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 【学びに向かう力・人間性等】 知っていることを体系的に整理し、それらを土台に自らの知識を深めようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１章・数と式 第２節・実数 教材：教科書、問題集	単元 第１章・数と式　第２節・実数 【知識及び技能】 実数に属する数を整理し、性質による分類とその数の名称を理解できている。 平方根の意味や性質を的確に理解し、基本的な計算ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 実数の大小関係や絶対値の意味等を理解し、数直線を用いて考察することができる。 既習事項を活用して根号の計算を効率的に行うことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 数の体系に関する既習事項を体系的に整理し、考察しようとする。 根号を含む式の計算に際し、展開の公式等の既習事項をうまく活用しようとする。	○	○	○	7
	単元 第１章・数と式　第３節・１次不等式 【知識及び技能】 不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、１次不等式の解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 不等式の性質を基に１次不等式を解く方法を考察する。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、１次不等式を問題解決に活用する。 【学びに向かう力・人間性等】	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１章・数と式 第３節・１次不等式 教材：教科書、問題集	単元 第１章・数と式　第３節・１次不等式 【知識及び技能】 不等号の意味や、不等式の性質及び解法を理解し、適切に処理することができる。 絶対値の意味を的確に把握し、絶対値を含む方程式・不等式の計算に活用できる。 【思考力・判断力・表現力等】 複雑な形の不等式も的確に表現することができ、身近な問題を不等式に帰着させて解決することができる。 絶対値記号を含むやや複雑な式にも、的確に処理することができる。 【学びに向かう力・人間性等】	○	○	○	8

	数学を日常の様々な問題解決を行うための手段として活用しようとする態度を養う。		不等式と等式について、その性質や解法および解の意味を考察しようとする。 絶対値記号を含むやや複雑な方程式や不等式も、解こうとする意欲を持つことができる。				

	単元　第２章・集合と命題 【知識及び技能】 集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 集合の考え方を用いて論理的に考察し、簡単な命題が証明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 論理的に物事を処理する態度を養い、日ごろから論理的思考力をもって問題解決に当たろうとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第２章・集合と命題 教材：教科書、問題集	単元　第２章・集合と命題 【知識及び技能】 集合及び命題に関する基本的な概念を的確に理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 集合及び命題に関する概念から、ものの関係性を的確に表現することができる。 命題の条件や結論に着目し、適切な証明法により命題を証明することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 物事を論理的に捉え表現しようと努力している。 正面から証明することが困難でも、多角的に捉えることによって解決しようとする態度がある。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2学期	単元　第３章・２次関数　第１節・２次関数とグラフ 【知識及び技能】 ２次関数の値の変化やグラフの特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ２次関数の式とグラフの関係につい、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 日常の中に関数が密接に関係していることを知り、問題解決に活用しようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第３章・２次関数 第１節・２次関数とグラフ 教材：教科書、問題集 １人１台端末の活用	単元　第３章・２次関数　第１節・２次関数とグラフ 【知識及び技能】 １次関数に関する基本的な表現ができ、グラフをかくことができる。 ２次関数に関わる式の変形ができ、グラフをかくことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ２つの変量の関係性を関数式で表現できる。 ２次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活の中にみられる関数の具体例を見つけて考察しようとする。 ２次関数の式とグラフの関係性を見出し、積極的に活用する意欲がある。	○	○	○	10
	単元　第３章・２次関数　第２節・２次関数の値の変化 【知識及び技能】 ２次関数の最大値・最小値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ２つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。 【学びに向かう力・人間性等】 日常の中に関数が密接に関係していることを知り、問題解決に活用しようとする態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第３章・２次関数 第２節・２次関数の値の変化 教材：教科書、問題集	単元　第３章・２次関数　第２節・２次関数の値の変化 【知識及び技能】 平方完成や定義域を適切に処理し、最大値・最小値を求めることができる。 与えられた条件を関数の式に表現し、２次関数を決定す 【思考力・判断力・表現力等】 ２次関数の最大・最小を用いて、日常に密接した問題の解決を考えることができる。 与えられた条件を的確に把握し、処理するのに適した式の形を表現して２次関数を決定できる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活における具体的な事象の考察に、２次関数の最大・最小の考えを活用しようとしている。 何をもって２次関数が１つに決まるのかについて興味関心をもって考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	単元　第３章・２次関数　第３節・２次方程式と２次不等式 【知識及び技能】 ２次方程式の解と２次関数のグラフとの関係について理解する。また、２次不等式の解と２次関数のグラフとの関係について理解し、２次関数のグラフを用いて２次不等式の解を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ２次関数、２次方程式、２次不等式を相互に関連付け、考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 物事の関係性を把握しようとする、図をかくなど工夫して理解を進めようとする等といった態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第３章・２次関数 第３節・２次方程式と２次不等式 教材：教科書、問題集	単元　第３章・２次関数　第３節・２次方程式と２次不等式 【知識及び技能】 因数分解、解の公式を用いて２次方程式が解ける。 判別式を理解し活用することができる。 ２次不等式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ２次関数を基に、２次方程式及び２次不等式について考察することができる。 判別式を的確に活用し、種々の問題解決に当たることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ２次関数を活用し、２次方程式及び２次不等式を解決しようとする意欲がある。 ２次不等式を解くときに、図を積極的に利用する。 身近な問題を２次不等式で解決しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	単元　第４章・図形と計量　第１節・三角比 【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 具体的な事象を三角比の問題として捉え、表現・処理をすることができる。 既習事項である鋭角の三角比の考え方を基に、鈍角の三角比を的確に捉えて表現できる。 【学びに向かう力・人間性等】 今まで学んだことのない事柄にも、積極的に学び取ろうとする態度と意欲を養う。 これまでに学習していることも活用し、少しずつ知識を拡張していこうとする態度と意欲を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第４章・図形と計量 第１節・三角比 教材：教科書、問題集	単元　第４章・図形と計量　第１節・三角比 【知識及び技能】 鋭角の三角比の意味が的確に理解できる。 鋭角の三角比から鈍角の三角比まで拡張して考えることができる。 相互関係の式を的確に活用することができる。 三角比の値から角度を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 測量に関わる問題に三角比を用いて表現することができ、問題を解決することができる。 既習事項から三角比の相互関係を見出すことができる。 鈍角の場合に拡張するためには、既知である鋭角の三角比をどのように活用すればよいかの判断ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 既習事項から発展的に新たなことを学ぼうとする関心や意欲がある。 図を積極的に用いて三角比を発展させようとする。	○	○	○	11

3学期	単元　第４章・図形と計量　第２節・三角形への応用 【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式を導くことができる。また、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできる。 【学びに向かう力・人間性等】 数式の図形的な意味合いを把握し、与えられた条件から適切な式を用いて解決しようとする意欲を養う。 日常の事象や社会の事象などに、三角比の考えを活用しようとする意欲と態度を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第４章・図形と計量 第２節・三角形への応用 教材：教科書、問題集	単元　第４章・図形と計量　第２節・三角形への応用 【知識及び技能】 正弦定理や余弦定理を理解し、それらを活用して三角形の辺の長さや角度を求めることができる。 三角比を用いて三角形の面積を求めることができる。 三角比を空間図形の測量に活用することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 既習事項を活用して、正弦定理、余弦定理、面積公式を導くことができる。 空間図形を的確に把握し、どのような見方をして公式を用いればよいかの判断ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 正弦定理や余弦定理の図形的な意味を把握し、問題解決に活用しようとしている。 日常の事象や社会の事象などに、三角比の考えを活用しようとしている。	○	○	○	11
	単元　第５章・データの分析 【知識及び技能】 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりできる。 具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。 目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり。批判的に考察したりする。 【学びに向かう力・人間性等】 感覚的に物事を捉えるだけでなく、根拠をもって考察を行う態度を養う。その根拠の１つとして、統計的なものの見方を身に付ける。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第５章・データの分析 教材：教科書、問題集 １人１台端末の活用	単元　第５章・データの分析 【知識及び技能】 様々な値の定義と意味することを理解し、的確に求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 様々な値から、そのデータの傾向を判断することができる。 仮説検定の考え方を活用して、身近な事柄に対する考察を行うことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 データを整理し全体の傾向を把握しようとする。 それぞれの計算結果や図の意味するものを的確に把握して分析に活用しようとする意欲がある。 身近な事柄において統計の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 106

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 数学　科目 数学A

教　科：数学　　科　目：数学A　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（A，B:田村)（C，D，E、F:篠本）

使用教科書：数研出版　新編　数学A

教科	数学	の目標：	数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	数学を活用して事象を論理的に考察する力，事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。		
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		

科目	数学A	の目標：	図形の性質，場合の数と確率について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 準備 集合 第１節 場合の数 １．集合の要素の個数	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○和集合や補集合について理解し，その要素の個数を求めることができる。 ○和集合，補集合の要素の個数の公式を利用できる。 ○ベン図を利用することで，和集合や補集合の要素の個数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○ベン図を利用して集合を図示することで，集合の要素の個数を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○集合を考えることで，日常的な事柄などを，集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 ○表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し，それを利用しようとする。	○	○	○	6
	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１節 場合の数 ２．場合の数	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○具体的な日常の事象に対して，集合を考えることで，人数などを求めることができる。 ○樹形図を用いて，場合の数をもれなくかつ重複なく数えることができる。 ○和の法則，積の法則の利用場面を理解し，事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ○自然数の正の約数の個数を数える方法を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○道順の数え方に興味を示し，樹形図，和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもつ。 ○自然数の正の約数の個数を数えること，式の展開を利用して約数が列挙できることに興味を示す。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１節 場合の数 ３．順列 ４．組合せ	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○順列の総数，階乗を記号で表し，それを活用できる。 ○順列，円順列，重複順列の公式を理解し，利用することができる。 ○順列，円順列に条件が付く場合に，条件の処理の仕方を理解している。 ○組合せの総数を記号で表し，それを活用できる。また，組合せの公式を理解し，利用することができる。 ○組合せの条件が付く場合に，条件の処理の仕方を理解している。 ○組分けの総数を求めることができる。 ○同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○条件が付く順列，円順列を，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○既知の順列や積の法則をもとにして，円順列，重複順列を考察することができる。 ○既知である順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。 ○条件が付く組合せを，見方を変えたり別なものに対応させたりして処理することができる。 ○同じものを含む順列を，組合せで考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○既知である積の法則から順列の総数を求める式を導こうとする。 ○色の塗り分けの方法を数えるのに，順列の考え方が使えることに興味・関心をもつ。 ○順列，円順列，重複順列の違いに興味・関心をもつ。 ○順列と組合せの違いに興味・関心をもつ。 ○組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ○重複組合せについて理解し，その総数を，順列や組合せの考えを適切に用いて求めようとする。	○	○	○	8

	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第２節 確率 ５．事象と確率 ６．確率の基本性質	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○確率の意味，試行や事象の定義を理解している。 ○試行の結果を事象として表すことができる。 ○確率の定義を理解し，確率の求め方がわかる。 ○積事象，和事象の定義を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○試行の結果を事象として捉え，事象を集合と結びつけて考察することができる。 ○不確定な事象を，同様に確からしいという概念をもとに，数量的に捉えることができる。 ○集合の性質を用いて，確率の性質を一般的に考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○1個のさいころを繰り返し投げる実験などを通して，統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ○加法定理などを利用して，複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		
2学期	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 場合の数を求めるときの基本的な考え方についての理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 場合の数を求めるときの基本的な考え方を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第２節 確率 ７．独立な試行と確率 ８．条件付き確率 ９．期待値	単元　第１章 場合の数と確率 【知識及び技能】 ○独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 ○複雑な独立試行の確率を，公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。 ○複雑な反復試行の確率を，公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ○条件付き確率を，記号を用いて表すことができる。 ○条件付き確率の式から確率の乗法定理の等式を導くことができる。 ○条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 ○期待値の定義を理解し，期待値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○独立な試行の確率を，具体的な例から直観的に考えることができる。 ○既習の確率の知識を利用して，反復試行の確率について考察することができる。 ○既習の確率と条件付き確率の違いについて，図や表などを用いて考察することができる。 ○結果が不確実な状況下において，どの選択が有理かを判断する基準として，期待値の考えを用いて考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○独立な試行の確率について，興味をもって調べようとする。 ○具体的事象について，反復試行の確率を，興味をもって調べようとする。 ○条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち，積極的に活用しようとする。 ○日常の事象における不確実な事柄について判断する際に，期待値を用いて比較し，考察しようとする。	○	○	○	11
	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深め，る。 【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１節 平面図形 １．三角形の辺の比 ２．三角形の外心・内心・重心	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ○線分の内分・外分，平行線と比などの基本事項を理解している。 ○定理を適切に利用して，線分の比や長さを求めることができる。 ○三角形の外心，内心，重心の定義，性質を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ○図形の性質を証明するのに，既習事項を用いて論理的に考察することができる。また，適切な補助線を引いて考察することができる。 ○図形の性質を証明するのに，間接的な証明法である同一法が理解できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○線分を内分・外分する点や，三角形の角の二等分線と比について調べようとする態度がある。 ○三角形の外心，内心，重心に関する性質に興味を示し，積極的に考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深め，る。 【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１節 平面図形 ３．チェバの定理・メネラウスの定理 ４．円に内接する四角形 ５．円と直線	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ○チェバの定理，メネラウスの定理を理解している。 ○チェバの定理，メネラウスの定理を，三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 ○三角形の存在条件や，辺と角の大小関係について理解している。 ○円の接線の性質を利用して，線分の長さを求めることができる。 ○円の接線と弦の作る角の性質を利用して，角度を求めることができる。 ○方べきの定理を利用して，線分の長さなどを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○チェバの定理，メネラウスの定理について，論理的に考察し，証明することができる。 ○円と直線を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。 ○方べきの定理について，対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができ 【学びに向かう力・人間性等】 ○チェバの定理，メネラウスの定理に興味を示し，積極的に考察しようとする。 ○三角形の辺と角の大小関係という明らかに見える性質を，論理的に考察しようとする。 ○相似を利用した方べきの定理の導き方に興味・関心をもつ。 ○方べきの定理の逆が成り立つことに興味・関心をもつ。	○	○	○	10
	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 平面図形の性質についての理解を深め，る。 【思考力・判断力・表現力等】 平面図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第１節 平面図形 ６．2つの円 ７．作図	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ○2つの円が内接しているとき成り立つ性質を利用して角度を求めることができる。 ○共通接線の定義を理解し，その長さの求め方がわかる。 ○中学校で学んだ垂線の作図を知っている。 ○線分の内分点・外分点の作図や，b/a や ab の長さをもつ線分の作図ができる。 ○√a の長さをもつ線分の作図の方法を文章で表現し，得られた図形が確かに条件を満たすことを証明することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○2つの円を動的にとらえて，それらの位置関係を考察することができる。 ○平行線と線分の比の性質を利用して，内分点・外分点の作図の方法や，b/a や ab の長さをもつ線分の作図の方法を考察することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○2つの円の位置関係と，中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。 ○数学で扱う作図と，日常において図形をかくことでは，何が違うか考えてみようとする。 ○正五角形の作図の手順を理解し，正五角形以外にもいろいろな図形の作図に興味・関心をもつ。 ○コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして，作図の方針を立てようとする。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		

3学期	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 空間図形の性質についての理解を深め，る。 【思考力・判断力・表現力等】 空間図形の性質を事象の考察に活用できるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や創造性の基礎を養う。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 第２節 空間図形 ８．直線と平面 ９．空間図形と多面体	単元　第２章 図形の性質 【知識及び技能】 ○空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 ○正多面体の特徴を理解し，それに基づいて面，頂点，辺の数を求めることができる。 ○正多面体どうしの関係を利用して，正多面体の体積を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ○空間における直線と平面が垂直になるための条件を，与えられた立体に当てはめて考察することができる。 ○空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを，与えられた条件から考察することができる。 ○正多面体の満たす条件を理解し，正多面体から切り取った立体がまた正多面体であることを示すことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ○空間における図形の位置関係について，積極的に考えてみようとする。 ○オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べてみようとする。 ○オイラーの多面体定理を利用すると，正多面体の面の形から面の数が限定されることに関心をもつ。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		
							合計 70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　教科 理科　科目 生物基礎

教　科：理科　科　目：生物基礎　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(E・F:菅谷　雅人)(A・B・C・D:若田　俊男)

使用教科書：生物基礎　東京書籍

教科	理科	の目標：	自然の事物現象を、科学的な視点で捉え科学的な思考を道いて考える。
【知識及び技能】	自然の事物・現象に対する関心や探究心を高める。		
【思考力、判断力、表現力等】	目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。		
【学びに向かう力、人間性等】	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。		

科目	生物基礎	の目標：	日常生活や社会との関連を生物や生物現象への関心を高めるとともに科学的な見方や考え方を養う。
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高める。	目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を育てる。	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 ・DNA，ATP，細胞構造などの生物の共通性を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生物のもつ共通性の由来，多様性の由来について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生物のもつ特徴としての多様性と共通性に関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・真核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞の構造について理解する。 ・原核細胞，動物の真核細胞，植物の真核細胞の構造を比較し，共通性について考える。 ・単細胞生物と多細胞生物について理解し，これらの生物の細胞はどのように生命を維持しているのかについて考える。 ・さまざまな細胞とその大きさについて理解する。	単元　生物の多様性と共通性 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題1，2に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生物のもつ共通性と多様性が生物の進化に基づくことを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生物の多様性と共通性との関連を説明させる。	○	○	○	5
	単元　エネルギーと代謝 【知識及び技能】 ・生命活動の中でATPや酵素がどのような役割を担っているかを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・エネルギーの視点から，ATPや，触媒である酵素について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動のエネルギーがどのようなものであるか興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・ATPが呼吸や光合成などの生体内でのエネルギーの受け渡しに必ず関係していることを理解する。 ・ATPの構造が，アデニンとリボースが結合したアデノシンに，3つのリン酸が結合した物質であることを理解する。 ・ATPのリン酸どうしの結合に生命活動に利用できるエネルギーが蓄えられていることを理解する。 ・生物が，同化によってエネルギーを蓄え，異化によってエネルギーをとり出していることを理解する。 ・同化や異化の代謝の過程で生じるエネルギーの授受にATPが利用されていることを理解する。	単元　エネルギーと代謝 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題3に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・酵素によって生体内の化学反応が調節されていることを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動でエネルギーが扱われていることを図10「代謝とエネルギー」や図13「ATPとエネルギーの利用」などを用いて，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	単元　光合成と呼吸 【知識及び技能】 ・葉緑体での光合成，ミトコンドリアでの呼吸を生命活動のエネルギーと関連づけて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・葉緑体とミトコンドリアが進化の過程で細胞内共生によって成立したことを説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・エネルギーを扱う葉緑体とミトコンドリアについて興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・呼吸におけるグルコースの分解反応の概要とATPの合成について理解する。 ・呼吸と燃焼の違いを理解する。 ・光合成におけるグルコースの合成反応の概要とATPの合成について理解する。 ・真核細胞内では，光合成は葉緑体で行われ，原核細胞では細胞質基質で行われることを理解する。	単元　光合成と呼吸 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題4に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・葉緑体とミトコンドリアの由来とその根拠について説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動の単位となる細胞内でエネルギーを扱う葉緑体とミトコンドリアのはたらきについて図19「エネルギーの流れとATP」などを用いて，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	3

	単元　遺伝情報とＤＮＡ 【知識及び技能】 DNAの構造を理解し，さらにその構造的特徴が遺伝情報を担う物質として機能することを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 生物がDNAという共通の分子を遺伝子の本体としているにもかかわらず，多様な情報を保持しているしくみについて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 DNAという分子のどこに遺伝情報が存在するのかについて，興味・関心をもつ。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・遺伝子とその働きについて，遺伝情報とDNAのことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 ・遺伝子とその働きについて，観察，実験などを通して探究し，遺伝情報を担う物質としてのDNAを見いだして表現する。 ・遺伝子とその働きに関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う	単元　遺伝情報とＤＮＡ 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題1，2などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 塩基配列に遺伝情報があるという結論を導き，その理由を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 遺伝情報を担っているDNAとはどのような構造的特徴をもつ物質であるかということについて，図2～5などを用いて，生徒間で意見交換させる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2学期	単元　遺伝情報の発現 【知識及び技能】 ・多種多様なタンパク質の性質はアミノ酸の配列によって決定されること，またその配列はDNAの塩基配列によって指定されていることを理解し，DNAが遺伝子として機能することを知る。 【思考力・判断力・表現力等】 ・タンパク質の多様性（アミノ酸配列）とDNAの多様性（塩基配列）の関連について考察できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・生命活動を支えるタンパク質の多様性に関心を示し，DNAからタンパク質が合成される過程を意欲的に知ろうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・DNAの遺伝情報は，まずmRNAに転写された後，アミノ酸に翻訳されることで発現するという流れ（セントラルドグマ）を理解する。 ・RNAとDNAの特徴の違いを理解する。 ・デオキシリボースとリボースの違いについて理解を深める。 ・転写の過程について理解する。 ・翻訳の過程について理解する。 ・mRNAの塩基3つの組をトリプレットと呼び，各トリプレットがそれぞれアミノ酸に対応していることを理解する。	単元　遺伝情報の発現 【知識及び技能】 整理の問題「2 遺伝情報の発現」の①～⑦に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 「遺伝情報の転写と翻訳」が示す，タンパク質とDNAの関係を科学的に考察し，その関係を表現させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・転写・翻訳という遺伝子発現の過程について図13「遺伝情報の転写と翻訳」などを用いて，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元　遺伝情報の分配 【知識及び技能】 ・遺伝情報を担うDNAの分配を細胞周期と関連づけて理解できているか。 ・細胞の分化を遺伝子発現と関連づけて理解できているか。 【思考力・判断力・表現力等】 ・体細胞分裂における染色体の動向をDNAの複製および分配と関連づけて説明できる。 ・遺伝情報の発現と細胞の分化の関係を科学的に考察できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・遺伝情報が分配されるしくみを細胞分裂における染色体の動きと関連づけて学ぼうとする。 ・個体が発生する過程で同じ遺伝情報をもっていながら，それぞれ異なった細胞へと分化していく現象に関心をもち，そのしくみを意欲的に考える。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・塩基の相補性によりDNAが正確に複製されることを理解する。 ・DNAの複製のしくみは，原核生物，真核生物を問わず，すべての生物で共通していることを理解する。 考えてみよう 大腸菌のゲノムの複製にかかる時間 ・大腸菌の全ゲノムの複製にかかる時間を考えて（計算）する。 ・細胞周期の間期にDNAの複製が行われ，分裂期にDNAが等しく分配され，結果としてどの細胞でも同じ遺伝情報をもつことを理解する。 書いてみよう DNAの構造を図で整理 ・ここまでに学習した用語を使って，DNAの構造を図で整理する。	単元　遺伝情報の分配 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題4などに答えさせる。 ・DNA,遺伝子，ゲノムそれぞれの語句が示す意味をまとめさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図16および17をもとにして，細胞周期とDNA量の変化を関連づけて的確に説明させる。 ・染色体の一部にパフが見られることと遺伝子発現を関連づけて説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・遺伝情報の分配と分化した細胞での遺伝子のはたらきについて，図16「細胞周期とDNAの複製・分配」や図19「分化した細胞での遺伝子発現」などを用いて，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元　体内環境としての体液 【知識及び技能】 体内環境とその恒常性について理解し，体液の種類とそれらの役割・酸素運搬のしくみや血液凝固について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ヒトの3種類の体液の違いと体液の循環を説明できる。血液循環、血液凝固について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 生命を支える器官系のはたらきを確かめ，それらが体液で満たされた体内環境の中ではたらいていることを実感する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・体内環境と体液の関係について理解する。 ・消化管や気管は体内にありながら，その内腔が外界との境界であることから体外環境にとして分類されることを理解する。	単元　体内環境としての体液 【知識及び技能】 整理の問題「1 体内環境としての体液」の①～⑤に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 組織液，血液，リンパ液の関係を説明させる。血液の循環経路を説明させる。血液凝固のようすを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 自分のからだの器官系のはたらきと，自分の体液はどのようにして確かめられるか，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元　腎臓と肝臓、神経とホルモンによる調節 【知識及び技能】 腎臓、肝臓の構造と機能、恒常性に果たす役割を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 腎臓、肝臓の働き、自律神経系、内分泌系の働きを比較しながら説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活における体液の持つ栄養や水分の関係に興味を持ち、自律神経、ホルモンによる調節を知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・神経系と内分泌系による調節について，情報の伝達のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 ・情報の伝達に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究する態度と，生命を尊重する態度を養う。	単元　腎臓と肝臓、神経とホルモンによる調節 【知識及び技能】 整理の問題「2 腎臓と肝臓による調節」の①～⑥、「3 神経とホルモンによる調節」の①～⑥に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 腎臓の構造と尿の生成・水分量の調節の関係を説明させる。尿の成分濃度や尿量などについて，数量的に算出させる。肝臓とさまざまな器官の結びつきを説明させる。腎臓と肝臓の役割分担について説明させる。自律神経系と内分泌系の違いを説明させる。フィードバック調節に図を用いて説明させる。血糖濃度の調節を説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 食物と水分の摂取と糞や尿の排出が，体内環境の維持との関係を生徒間で意見交換を行わせる。表「自律神経の作用」に記されているからだの変化が，どのようなときにおこるのかについて，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6

	単元 【知識及び技能】 自然免疫と適応免疫のしくみとはたらく細胞の役割を理解する。免疫を利用した医療行為や免疫の異常で起こる疾病を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 食作用を説明できる。食細胞とリンパ球の異物、抗原の認識のしかたを比較して説明できる。適応免疫のしくみを説明できる。免疫記憶を説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 膿は何か，病気にかかるとは，エイズやアレルギーとは，について教科書の記述から導き出そうとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・免疫，免疫の働きを理解し，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。・免疫について，観察，実験などを通して探究し，異物を排除する防御機構が備わっていることを見いだし表現する。・免疫の働きに関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元 【知識及び技能】 整理の問題「4 免疫」の①～⑥に答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 異物を攻撃するしくみを説明させる。自然免疫の異物の認識と適応免疫の抗原の認識の違いを説明させる。適応免疫のしくみと免疫記憶が生じるしくみを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 日常生活において感染症が伝染すること，一度かかった病気にかからないということ，ワクチンなどで予防することを体験に基づいた情報交換を行わせる。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
3学期	単元　植生の成り立ちと移り変わり 【知識及び技能】 優占種や相観、階層構造、植生と土壌の発達を理解する。植生遷移のしくみと過程を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 植生を優占種、相観で説明できる。階層構造を説明できる。土壌中の種子から説明する。 【学びに向かう力・人間性等】 植生を優占種や相観から分類する態度を養う。階層構造、植生と土壌の関係に興味・関心をもつ。植生の遷移を積極的に考えようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・植生と遷移について，植生と遷移のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 ・植生と遷移について，観察，実験などを通して探究し，遷移の要因を見いだして表現する。	単元　植生の成り立ちと移り変わり 【知識及び技能】 整理の問題「1 植生とその成り立ち」の①～⑤、章末問題の演習問題2、章末問題の演習問題2などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 植生を優占種と相観でとらえさせる。階層構造と環境条件の変化の関連を説明させる。競争を，その帰結として遷移となることを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 植生を分類させる。植生が階層構造を形成に関して生徒間で意見交換を行わせる。植生の遷移について，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	6
	単元　気候とバイオーム 【知識及び技能】 ・世界および日本に見られるさまざまなバイオームが気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・バイオームの分布とその分布に影響を与える環境要因について説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・世界および日本のバイオームの分布について興味をもち，その成立の要因について考える態度を身につける。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・植生と遷移に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元　気候とバイオーム 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題3，4などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・気温と降水量という要因が，バイオームの成立にどのように関連しているかを説明させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・バイオームの分布と成立する環境要因について，生徒間で意見交換を行わせる。	○	○	○	5
	単元　生態系とその成り立ち 【知識及び技能】 生産者や消費者，食物連鎖，生態ピラミッドを理解し，生態系を1つのまとまりとしてとらえることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 生態系を構成要素やそこで見られる関係について興味関心をもち科学的に知ろうとする。 【学びに向かう力・人間性等】 生態系の非生物的環境と生物のかかわりや生物間の関係を考え生物どうしのつながりを説明できる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・生態系とその保全について，生態系と生物の多様性，ならびに生態系のバランスと保全のことを理解するとともに，それらの観察，実験などに関する技能を身に付ける。 ・生態系とその保全について，観察，実験などを通して探究し，生態系における生物の種多様性を見いだすとともに，生態系のバランスと保全について表現する。 ・生態系とその保全に関する事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と，生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。	単元　生態系とその成り立ち 【知識及び技能】 ・章末問題の演習問題1などに答えさせる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生態系の定義，構成要素，構成要素間について，生徒間で意見交換を行わせる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・作用，環境形成作用や相互作用，生態系の中で食う-食われるの関係にどのような意味があるかを説明させる。	○	○	○	2
	定期考査			○	○		1

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 令和7 年度　教科 保健体育　科目 体育

教　科：保健体育　科　目：体育　単位数：2 単位

対象学年組：第年 学年 A 組～ F 組

教科担当者：（：小原　髙木 小檜山　）

使用教科書：大修館書店　ステップアップ

教科	保健体育	の目標：	体育や保健の見方・考え方を働かせ、」課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体とでいて捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する
【知識及び技能】	個人及び社会生活における，健康・安全について：理解を深めるとともに，技能を身に付けることができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し，判断するとともに，目的や状況に置応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。		

科目	体育	の目標：	体育や保健の見方・考え方を働かせ、」課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体とでいて捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性 や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　体つくりと集団行動 【知識及び技能】 体つくりの運動について，動きの特性や成り立ち，体の使い方や筋肉の名称、行い方，その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに，基本的な動きや効率の良い動きを身に付けることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 体の動きなどについて自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 自主的に取り組むとともに，個人と集団の課題を冷静に受け止め，ルールやマナー、協調性を大切にしようとしている。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 教科書 ワークシート スマスク端末他	単元　体つくりと集団行動 【知識及び技能】 ○知識 ①各運動で用いられる筋肉の部位を理解する。筋力を高め体を作るためには、重要な動きのポイントがあることを理解している。 ②運動観察の方法では，自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察や他者観察などの方法があることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ①体つくりの運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ①体つくりの学習や集団行動に自主的に取り組もうとしている。 ②集団行動のルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と協調しながら自己の役割を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	単元　スポーツの文化的特性や 【知識及び技能】 ・スポーツは，人類の歴史とともに始まり，その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また，我が国から世界に普及し，発展しているスポーツがあることを理解する。 ・現代のスポーツは，オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して，国際親善や世界平和に大きな役割を果たし，共生社会の実現にも寄与していること。また，ドーピングは，フェアプレイの精神に反するなど，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　ーツの文化的特性や現代のスポーツの 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化 スポーツは，人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと，近代になって，スポーツは娯楽から競技に変化し，一般の人びとに広がっていったこと，現代では，競技だけでなく，広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解できるようにする。 としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツの意義や価値 現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	単元　水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などの理解をするとともに、事故に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的にな解決に向けて取りt組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 学び方に主体的に取り組むとともに、勝敗などを静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康・安全を確保することができる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などの理解をするとともに、事故に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと 【思考力・判断力・表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的にな解決に向けて取りt組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えること 【学びに向かう力・人間性等】 学び方に主体的に取り組むとともに、勝敗などを静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康・安全を確保すること	○	○	○	10

定期考査						
単元　スポーツの文化的特性や 【知識及び技能】 ・スポーツは，人類の歴史とともに始まり，その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また，我が国から世界に普及し，発展しているスポーツがあることを理解する。 ・現代のスポーツは，オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して，国際親善や世界平和に大きな役割を果たし，共生社会の実現にも寄与していること。また，ドーピングは，フェアプレイの精神に反するなど，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　ーツの文化的特性や現代のスポーツの 【知識及び技能】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化 　スポーツは，人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと，近代になって，スポーツは娯楽から競技に変化し，一般の人びとに広がっていったこと，現代では，競技だけでなく，広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解できるようにする。 としてスポーツが用いられるようになってきており，その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。 ・現代のスポーツの意義や価値 　現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
定期考査						

単元　水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などの理解をするとともに、事故に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的にな解決に向けて取りt組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 学び方に主体的に取り組むとともに、勝敗などを静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康・安全を確保することができる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　水泳 【知識及び技能】 記録の向上や競争及び事故や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、協議会の仕方などの理解をするとともに、事故に適した泳法の効率を高めて泳ぐこと 【思考力・判断力・表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的にな解決に向けて取りt組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えること 【学びに向かう力・人間性等】 学び方に主体的に取り組むとともに、勝敗などを静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとすること、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康・安全を確保すること	○	○	○	10
定期考査						
単元　球技　ゴール型（サッカー） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること 【学びに向かう力・人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　球技　ゴール型（サッカー） 【知識及び技能】 知識 ①勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解できるようにする， ②作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開させることができるようにする。 技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする 【思考力・判断力・表現力等】 ①攻防などの自己やチームの課題を発見し，攻防やボール操作及びボールを持たない動きなどの改善についてのポイントを発見できるようにする。 ②合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにする， ③自己や仲間の考えたことを分析し他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ①球技に「する・みる。支える・知る」などの学習に主体的に取り組めるようにする。 ②決められたルールや自分たちが決めたルール及びマナーを単に守るだけではなく、相手を尊重したりする行動を通してフェアなプレイの大切さを理解できるようにする。　③一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし、互いに助け合い高め合える力を養う。	○	○	○	8
単元　球技　ネット型(テニス) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。また、ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力・人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　球技　ネット型(テニス) 【知識及び技能】 ①技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ②試合の行い方や、ルール、審判方法について理解し、取り組むことができる。 ③安定したラケット操作でボールをコントロールすることができる。 ④技能の段階に応じて、相手との攻防に合った作戦で練習やゲームをすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ①技能の段階に応じて相手に合った作戦を立てている。 ②資料や学習カードを活用し、仲間と協力しながら課題解決の方法を考えようとしている。 【学びに向かう力・人間性等】 ①学習課題に主体的に取り組もうとしている。 ②フェアなプレイを大切にし、相手を尊重しようとしている。 ③健康安全に留意している。	○	○	○	7

2学期	単元 【知識及び技能】 球技　ゴール型（バスケットボール） 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること 【思考力・判断力・表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝えること 【学びに向かう力・人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに，フェアなプレイを大切にしようとすること，作戦などについての話合いに貢献しようとすること，一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすること，互いに助け合い教え合おうとすることなどや，健康・安全を確保すること	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　球技　ゴール型（バスケットボール） 【知識及び技能】 知識 ①勝敗を競う楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解できるようにする， ②作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開させることができるようにする。 技能 安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする 【思考力・判断力・表現力等】 ①攻防などの自己やチームの課題を発見し，攻防やボール操作及びボールを持たない動きなどの改善についてのポイントを発見できるようにする。 ②合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができるようにする， ③自己や仲間の考えたことを分析し他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力・人間性等】 ①球技に「する・みる。支える・知る」などの学習に主体的に取り組めるようにする。 ②決められたルールや自分たちが決めたルール及びマナーを単に守るだけではなく、相手を尊重したりする行動を通してフェアなプレイの大切さを理解できるようにする。　③一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし、互いに助け合い高め合える力を養う。	○	○	○	7
	定期考査						
	単元 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 【知識及び技能】 ・現代のスポーツは，オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して，国際親善や世界平和に大きな役割を果たし，共生社会の実現にも寄与していることを理解する。 ・現代のスポーツは，経済的な波及効果があり，スポーツ産業が経済の中で大きな影響を及ぼしていること。また，スポーツの経済的な波及効果が高まるにつれ，スポーツの高潔さなどが一層求められることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるようにする。 イ　スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，その解決を目指した活動を通して，次の事項を身に付けることができるようにする。 ウ　スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす影響 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 【知識及び技能】 ・現代のスポーツの意義や価値 　現代のスポーツは，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており，その代表的なものにオリンピックやパラリンピック等の国際大会があることを理解している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さ 　現代のスポーツの経済的効果には，スポーツの実施による直接的な効果のみならず，例えば，スポーツ用品，スポーツに関する情報やサービス，スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果，スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり，経済活動に大きな影響を及ぼしていることを 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝え 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						

3学期	単元　陸上競技（長距離） 【知識及び技能】 次の運動について，記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい，技術の名称や行い方，体力の高め方，運動観察の方法などを理解するとともに，各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 イ　距離走では，事故に適したペースを維持し，一定の距離を走り通し，タイムを短縮したり，競争できるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し，合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに，自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに，勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとすること，自己の責任を果たそうとすること，一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするとなどや，健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　陸上競技（長距離） 【知識及び技能】 ○知識 ①技術の名称や行い方では，陸上競技の各種目で用いられる技術の名称があり，それぞれの技術には，記録の向上につながる重要な動きのポイントがあることを理解している。 ②運動観察の方法では，自己の動きや仲間の動き方を分析するには，自己観察や他者観察などの方法があることを理解している。 ○技能 【長距離走】 ①リズミカルに腕を振り，力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ②呼吸を楽にしたり，走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ③自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることことができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ①選択した運動について，合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して，成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について，自己の考えを伝えている。 ③健康や安全を確保するために，体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。 【学びに向かう力・人間性等】 ①陸上競技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め，ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した自己の役割を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。	○	○	○	10
	定期考査						
	単元　スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 また，ドーピングは，フェアプレイの精神に反するなど，能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせる。 ・スポーツを行う際は，スポーツが環境や社会にもたらす影響を考慮し，多様性への理解や持続可能な社会の実現に寄与する責任ある行動が求められることを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について，課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境 ・教科書 ・ワークシート ・スマスク端末他	単元　スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展 【知識及び技能】 ・スポーツの経済的効果と高潔さ 現代のスポーツの経済的効果には，スポーツの実施による直接的な効果のみならず，例えば，スポーツ用品，スポーツに関する情報やサービス，スポーツ施設などの広範な業種から構成されるスポーツ産業による効果，スポーツイベント等による波及的な経済的効果があり，経済活動に大きな影響を及ぼしていることを理解している。 ・スポーツが環境や社会にもたらす影響 スポーツに関わる人々の増加は，例えば，地域の人々の生活や社会環境にも様々な影響をもたらすようになっていることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について，事実や理念を整理したり，自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして，自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見している。 ・スポーツの経済的効果と高潔さやスポーツが環境や社会へもたらす影響について，習得した知識を基に，持続可能なスポーツの発展のための課題の解決に向けて，自己の提案を言葉や文章などを通して他者に伝えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代スポーツの発展についての学習に，自主的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
	定期考査						

合計
70

記入の仕方

① ■色のセルは「**基本情報入力シート**」へ入力
してください。自動で反映します。

② ■色のセルは各自で入力してください。
白色のシートのロックをしています。変更すること
はできません。

③ シートのロックを解除する場合
校閲
↓
シート保護の解除
↓
ロック解除（パスワードはありません）

④ 誤入力を防ぐため、シートをロックする場合
校閲
↓
シートの保護

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 令和７年 年度　教科 保健体育 科目 保健

教　科：保健体育　科　目：保健　単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(AB:小原)(DF:高木)(CE:小檜山)

使用教科書：大修館

教科	保健体育	の目標：	体育や保健の見方・考え方を働かせ、」課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体とでして捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成する
【知識及び技能】	個人及び社会生活における、健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができるようにする。		
【思考力、判断力、表現力等】	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し、判断するとともに、目的や状況に置応じて他者に伝える力を身に付けることができるようにする。		
【学びに向かう力、人間性等】	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。		

科目	保健	の目標：	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康について理解を深めること ・健康の考え方 ・現代の感染症とその予防 ・生活習慣病などの予防と回復 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ・精神疾患の予防と回復	現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を志向し判断するとともに、それらを表現すること。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身に付けることができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見できる。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組む態度を育てる	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・我が国の死亡率，受療率，平均寿命，健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康水準，及び疾病構造の変化には，科学技術の発達，及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				3

1学期	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりできる ・生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる 【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見できる ・生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる ・生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる 【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組める	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 がん，脳血管疾患，虚血性心疾患，高血圧症，脂質異常症，糖尿病などを適宜取り上げ，これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること，定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・がんは，肺がん，大腸がん，胃がんなど様々な種類があり，生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・生活習慣病などの予防と回復には，個人の取組とともに，健康診断やがん検診の普及，正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生活習慣病などの予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し，リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・生活習慣病などの予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				8
	定期考査						
	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 ・コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 ・薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見できる。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価できる。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・喫煙や飲酒は，生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねること，喫煙や飲酒による健康課題を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観の育成などの個人への働きかけ，及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・コカイン，MDMA などの麻薬，覚醒剤，大麻，など，薬物の乱用は，心身の健康，社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから，決して行ってはならないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・薬物乱用を防止するには，正しい知識の普及，健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ，及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり，諸外国と比較したりして，防止策を評価している。 ・喫煙，飲酒，薬物乱用の防止について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 喫煙，飲酒，薬物乱用について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				6

単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる ・うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害などは，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 ・精神疾患の予防と回復には，身体の健康と同じく，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 ・心身の不調時には，不安，抑うつ，焦燥，不眠などの精神活動の変化が，通常時より強く，持続的に生じること，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること，偏見や差別の対象ではないことについて，理解したことを言ったり書いたりできる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見できる。 ・精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理できる。 ・精神疾患の予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・精神疾患の予防とその回復について、課題解決に向けて取り組んでいる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・精神疾患は，精神機能の基盤となる心理的，生物的，または社会的な機能の障害などが原因となり，認知，情動，行動などの不調により，精神活動が不全になった状態であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・うつ病，統合失調症，不安症，摂食障害などは，誰もが罹患しうること，若年で発症する疾患が多いこと，適切な対処により回復し生活の質の向上が可能であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・精神疾患の予防と回復には，身体の健康と同じく，適切な運動，食事，休養及び睡眠など，調和のとれた生活を実践すること，早期に心身の不調に気付くこと，心身に起こった反応については体ほぐしの運動などのリラクセーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・心身の不調時には，不安，抑うつ，焦燥，不眠などの精神活動の変化が，通常時より強く，持続的に生じること，心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって回復可能性が高まることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・人々が精神疾患について正しく理解するとともに，専門家への相談や早期の治療などを受けやすい社会環境を整えることが重要であること，偏見や差別の対象ではないことについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・精神疾患の予防と回復について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について，習得した知識を基に，心身の健康を保ち，不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 精神疾患の予防とその回復について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				5
定期考査						
単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・感染症は，時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け，発生や流行に違いが見られること，その際，交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること，また，新たな病原体の出現，感染症に対する社会の意識の変化等によって，腸管出血性大腸菌（O 157 等）感染症，結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・感染症のリスクを軽減し予防するには，衛生的な環境の整備や検疫，正しい情報の発信，予防接種の普及など社会的な対策とともに，それらを前提とした個人の取組が必要であること，エイズ及び性感染症についても，その原因，及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】				

	・現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて，事例を通して整理し，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		・現代の感染症とその予防について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて，事例を通して整理し，感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に応用している。 ・現代の感染症とその予防について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 現代の感染症とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				

2学期	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。・交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 ・交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・事故は，地域，職場，家庭，学校など様々な場面において発生していること，事故の発生には，周りの状況の把握及び判断，行動や心理などの人的要因，気象条件，施設・設備，車両，法令，制度，情報体制などの環境要因などが関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。・事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には，交通安全，防災，防犯などを取り上げて，法的な整備などの環境の整備，環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組，及び地域の連携などが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。・交通事故を防止するには，自他の生命を尊重するとともに，自分自身の心身の状態や周りの環境，車両の特性などを把握すること，及び個人の適切な行動，交通環境の整備が必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・安全な社会づくりについて，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・安全な社会づくりについて，様々な事故や災害の事例から，安全に関する情報を整理し，環境の整備に応用している。 ・交通安全について，習得した知識を基に，事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 ・安全な社会づくりについて，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 安全な社会づくりについて，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				3
	定期考査						
	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には，自然環境，及び政策や制度，地域活動などの様々な社会環境があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元　現代社会と健康 【知識及び技能】 ・健康を保持増進するには，ヘルスプロモーションの考え方に基づき，適切な意思決定や行動選択により，疾病等のリスクを軽減することを含め，自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに，環境づくりが重要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・適切な意思決定や行動選択には，個人の知識，価値観，心理状態，及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・健康を保持増進するための環境には，自然環境，及び政策や制度，地域活動などの様々な社会環境があることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・健康の考え方について，健康に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・国民の健康課題について，我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。 ・健康の考え方について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				4
	定期考査						

3学期	単元　安全な社会生活 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・日常生活で起こる傷害や，熱中症などの疾病の際には，それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを，実習を通して理解し，応急手当ができるようにする。 ・心肺停止状態においては，急速に回復の可能性が失われつつあり，速やかな気道確保，人工呼吸，胸骨圧迫，AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること，及び方法や手順について，実習を通して理解したことを言ったり書いたりし，AED などを用いて心肺蘇生法ができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 教科書 ワークシート 一人一台端末の活用 他	単元 【知識及び技能】 ・適切な応急手当は，傷害や疾病の悪化を防いだり，傷病者の苦痛を緩和したりすることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 ・自他の生命や身体を守り，不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには，一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに，自ら進んで行う態度が必要であること，さらに，社会の救急体制の整備を進めること，救急体制を適切に利用することが必要であることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・応急手当について，安全に関わる原則や概念を基に整理したり，個人及び社会生活と関連付けたりして，自他や社会の課題を発見している。 ・応急手当について，習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて，悪化防止のための適切な方法に応用している。 ・応急手当について，自他や社会の課題の解決方法と，それを選択した理由などを話し合ったり，ノートなどに記述したりして，筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力・人間性等】 応急手当について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。				6
	定期考査						

合計
35

年間授業計画　新様式例

若葉総合高等学校 令和7年度（１学年用）　教科　芸術　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　F 組

教科担当者：（全組：篠塚　）

使用教科書：（ 音楽之友社　ON!1　）

教科　芸術　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、芸術における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力身に付ける。

【知識及び技能】　芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】　生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目　音楽Ⅰ　の目標：　音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を身に付ける。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A表現　校歌を歌おう。 【知識・技能】 歌唱表現について理解し、体の使い方及び他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 歌唱表現について理解し、体の使い方及び他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 校歌を歌うことにより若葉総合高校の生徒としての自覚を持ち、主体的に学習活動に取り組む。	歌詞の理解 発声法及び発声練習 正しい旋律の取り方 歌唱法・表現法	○				【知識・技能】 様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととのかかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図を持っている。 【学びに向かう力・人間性等】 校歌を歌うことにより、若葉総合高校の一員となったことを自覚し、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	A表現　イタリア歌曲を歌おう～Caro mio ben 【知識・技能】 言葉と発声との関わり、曲想と音楽の構造とのかかわりについて理解し、発声法や発音等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素を知覚し、働きを感受しながらどのように歌うかの表現意図を持って歌唱している。 【学びに向かう力・人間性等】 イタリア歌曲の作品や表現に関心を持ち、主体的に学習活動に取り組む。	イタリア語の歌詞とその意味 リズム唱の方法 旋律の理解 言葉と旋律の理解 旋律の歌唱法 イタリア歌曲の歌唱法 歌詞の意味 歌詞の内容の表現	○				【知識・技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造とのかかわりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音等を身に付けている。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、それらのかかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 イタリア歌曲を表情豊かに歌うことに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B鑑賞　オーケストラの魅力を知ろう 【知識・技能】 表現上の効果と音楽との関わりを理解する。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素を知覚し、その働きを感受しながら、音楽の良さや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力・人間性等】 オーケストラの音色やリズム、旋律に関心を持ち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組む。	演奏に使用される楽器の名称及びジャンル 楽曲解説 楽曲構成について 作品の批評のまとめ方				○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造とのかかわりについて理解している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととのかかわりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力・人間性等】 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、また作品のリズムに乗せた旋律が展開されながらもたらす表現上の効果に関心をもち、主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	A表現・B鑑賞　1学期のまとめ 【知識・技能】 １学期の学習における「知識」に関する諸事項を理解し、技能に関する事項を身に付けて歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音楽を形づくっている要素を知覚し、働きを感受しながら、どのように歌うかの表現意図を持っている。 【学びに向かう力・人間性等】 1学期の音楽の学習のまとめとして、自己の課題を確認し、主体的に学習活動に取り組む。	知識に関する事項の復習 技能に関する事項の復習 既習曲の復習 ２学期の学習に向けての確認			○	○	【知識・技能】 音楽Ⅰの1学期の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。（知） 音楽Ⅰの1学期の学習における技能に関する諸事項を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、それらのかかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 1学期の音楽学習のまとめとしての歌唱の実技試験や、自己の課題を確認し、2学期以降の取り組みを考えることに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	4
2学期	B鑑賞　音楽を紹介してみよう　さまざまな時代のピアノ曲を聴こう 【知識・技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかかわりについて理解している。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力・人間性等】 時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら、主体的に鑑賞活動に取り組む。	プレゼンテーションの方法 楽曲の鑑賞方法 ピアノ曲の特徴 作曲家とその時代背景				○	【知識・技能】 曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術とのかかわりについて理解している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととのかかわりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【学びに向かう力・人間性等】 夏季休業中に作成した紹介文を使って発表会を行い、時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら、曲や演奏について関心をもち、主体的に協働的に鑑賞の授業に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	A表現　クラシックギターを楽しもう 【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解し、奏法や他者との調和を意識して演奏する技能を身につける。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感受しながら、どのように演奏するかの表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 ギターの奏法を身に付け、創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成、ギターの奏法に関する用語 様々な器楽表現の特徴 曲想と音色や奏法との関わり コード演奏法 重奏における楽譜の留意点 奏法、身体の使い方などの技能 表現形態の特徴を生かして演奏する技能 調和を意識して演奏する技能		○			【知識・技能】 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付け、器楽で表している。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、それらのかかわりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 クラシック・ギターの奏法を身に付けることや技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏することに関心を持ち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	15
3学期	B鑑賞　日本の伝統音楽について学ぼう 【知識・技能】 音楽の特徴と文化的・歴史的背景、またわが国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解する。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感受しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 【学びに向かう力・人間性等】 日本の伝統楽器の音色や奏法、楽器の構造等に関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組む。	日本の音階、西洋の音階 作曲家：宮城道雄 箏の楽器の構造 箏の楽譜の読み方 箏曲の鑑賞ポイント 歌舞伎 長唄 黒御簾音楽 三味線の楽器の構造 三味線の楽譜の読み方 長唄の鑑賞ポイント				○	【知識・技能】 曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり、言葉の特性と発声との関わり、表現上の効果と音楽の構造との関わり、他の芸術との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、それらのかかわりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか、音楽と他の文化が互いにどのように影響しあって発展してきたかに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	5
	A表現　アンサンブルを楽しもう 【知識・技能】 1年間の学習における「知識」に関する諸事項について理解し、「技能」を身に付け、表現活動で表す。 【思考・判断・表現】 音楽を形作っている要素を知覚し、働きを感受しながら、それらをどのように表すかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 コンサートを実施することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組む。	楽曲の選曲方法 選曲した楽曲のアレンジ方法 楽曲の読譜方法 躓いた部分の修正方法 拍子のカウント方法 全員がそろうための修正方法 楽曲のテクスチュア テンポのあげ方 演奏する側の心構え 聴く側の心構え（鑑賞マナー）	○	○	○	○	【知識・技能】 音楽Ⅰの1年間の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 「技能」に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作であらわしている。 【思考・判断・表現】 音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、それらの関わりについて考え、歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力・人間性等】 1年間のまとめとしてコンサートを実施することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱、器楽、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	12 合計 70

年間授業計画　新様式例

若葉総合 高等学校 令和７年度　　教科　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1 学年　A　組～　F　組

教科担当者：（A,B組：蜂須　瑚々）（C,EF：佐々木　保乃）（D：村上　奈月）

使用教科書：（ 高校生の美術１　　）

教科　芸術　　の目標：　芸術の幅広い活動を通して、創造的な思考を働かせ、社会の中の芸術と豊かに関わる能力を身に付

【 知　識　及　び　技　能 】造形の要素や働きを理解し、自ら創意工夫をして主題を表現する。

【思考力、判断力、表現力等】モチーフやテーマを観察や分析をし創造的に表現をする。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い分野を学び、社会と芸術の関連を理解し、感性と美意識を高めた心豊かな創造活動をおこなう。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・造形の要素や働きを理解している。 ・意図に応じて材料や用具の特徴を生かし、自らの表現に創意工夫し主題を追及して表現している。	・対象から感じ取ったことなどから主題を創造的に生成している。 ・作品を完成させるまでの過程を理解し、作品制作を通して自分自身を表現することが出来る	・美術が私たちの生活のおいて身近で大切なものであることを理解する。 ・主体的に表現に取り組み、感性と美意識を高め心豊かな創造活動を行う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
1学期	A 単元　絵画　素描「上履き」 【上履きの形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【鉛筆の濃淡による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「上履き」 鉛筆３B 練りゴム ティッシュ 八つ切り画用紙	○			○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	8
	A 単元　絵画　「油絵」 【の形体的理解を深めて立体を捉える。表現に必要な技能を身に付け、陰影などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や油絵具の重ね方やぼかし方による表現を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【油絵の特性と表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 油絵具　各色 溶き油 ペーパーパレット キャンパスボードF６	○			○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：絵画表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	12
	A 単元　彫刻モデリング「石」 【石の形体的理解を深めて立体を捉える。造形や彩色に必要な技能を身に付け、表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力や混色による表現を発見し表現の工夫をし構想する。】 【表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 素材の扱い方、道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 モチーフ「石」 石粉粘土、アルミホイル 木ヘラ、竹櫛、 アクリルガッシュ	○			○	知：形や素材の特質を理解して効果的に表現している。意図に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：対象の形体から想像的に意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：彫刻表現を主体的に行い、モチーフのかたちや色から感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする	○	○	○	10
	A単元 鑑賞「コマ撮り映像の鑑賞」 【コマ撮りｱﾆﾒｰｼｮﾝについての理解を深め、作者の表現に対するこだわりや作品への向かい方などを感じ取る】 【表現方法やその効果を理解して、自らの表現活動を振り返る。】	・指導事項 制作過程の紹介 鑑賞のポイント ・教材 プリント 鑑賞機材一式			○	○	知：コマ撮りｱﾆﾒｰｼｮﾝについての理解を深める。 態：映像から感じ取ったことや考えたことを文章にして表現する。	○		○	2
	A 単元　絵画「墨流し」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 表現方法の工夫 ・教材 墨、桶、和紙、綿棒、石鹸	○			○	知：墨を生かし、表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている 態：主題について理解と分析をし、表現方法や配色を工夫して主体的に表現しようとする。。	○	○	○	4

2学期	A 単元　絵画「古典模写」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 表現方法の工夫 ・教材 墨、桶、和紙、綿棒、石鹸	○			○	知：墨を生かし、表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている 態：主題について理解と分析をし、表現方法や配色を工夫して主体的に表現しようとする。。	○	○	○	6
	A 単元　絵画「モダンテクニック」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 表現方法の工夫 ・教材 画用紙、アクリル絵具	○			○	知：様々な表現方法を体験し、材料や用具を使い分け、創造的に表現する。 思：偶然的に生まれた形からイメージを膨らませ、表現を工夫して制作している。 態；主題について理解と分析をし、表現方法や配色を工夫して主体的に表現しようとしている。				2
	A 単元　絵画「日本画」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 A5色紙 日本画材（水干絵具、膠、絵皿）	○	○		○	知：モダンテクニックの表現方法を生かし、表現に応じて材料や用具を使い分け創造的に表現する。 思：色の効果や表現方法（技法）についての意識を働かせて表現の工夫をして制作をしている 態：主題について理解と分析をし、表現方法や配色を工夫して主体的に表現しようとする。	○	○	○	10
	A　単元　彫刻「消しゴムハンコ」 【主題のテーマや表現技法を分析し、表現に必要な技能を分析して創意工夫し表している。】 【表現の魅力や表現方法による効果を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【主題を理解し、自らの感性や創造性を生かして、意欲的に表現を行う。	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 消しゴム、彫刻刀、カッター	○			○	知：判子の制作方法を理解し、道具を使い分け想像的に表現する。 思：制作した日本画の烙印として使うことを考え、オリジナルのデザインを表現しよとしている。 態：主題について理解と分析をし、主体的に表現しようとしている。	○	○	○	6
3学期	A 単元　デザイン「トートバックのデザイン」 【表現に必要な技能を身に付け、配色などの表現方法を創意工夫し表している。】 【自然物の造形的魅力を発見し創意工夫をして構想し表現する。】 【配色や色の配置や重ね方の表現の可能性を探り、試行錯誤を主体的に行う。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 道具の使い方 表現方法の工夫 ・教材 プリント アクリルガッシュセット ・ステンシルシート		○		○	知：色や線表現の要素を効果的に構成している。ステンシルの技法を理解し、制作に取り組んでいる 思：感性を働かせて、表現の工夫をしている 態：主題を自ら考え、主体的に表現しようとしている。	○	○	○	8
	A 単元　絵画「人物クロッキー」 【表現に必要な技能を身に付け、即興で人物を描ける能力を身に付ける】 【人物の構造や筋肉の付き方などを理解し、ポーズから理解を進め表現に繋げる。】	・指導事項 観察のポイントや捉え方 表現方法の工夫 ・教材 Ａ３上質紙 コンテ	○			○	知：人物の構造を理解し表現要素を効果的に構成している。 思：対象の形体からに意識を働かせて観察し、表現の工夫をして制作をしている 態：表現活動を主体的に行い、人物やポーズから感じ取ったことや考えたことを意欲的に表現しようとする。	○	○	○	2 合計 70

年間授業計画　新様式例

若葉総合 高等学校 令和７年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 書道Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　A　組～　F　組

教科担当者：（A～F　組：　平澤　和泉　　）

使用教科書：（ 書道Ⅰ　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】書を取り巻く用具についての正しい理解をする。書表現の方法や形式を古典から学び取る。書体の変遷を理解するとともに、創造的に表現するための技能を身につけていく。

【思考力、判断力、表現力等】書のよさや美しさを感じとる能力を身につける。創作活動では、個性豊かに表現できる力をつけていく。書の伝統と文化という側面から書の美を味わい、深くとらえていく。

【学びに向かう力、人間性等】創造的作業の取り組みとして書の伝統と文化を意識しつつ、自己表現を主体的に行うことができる。

科目　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書を取り巻く用具についての正しい理解をする。書表現の方法や形式を古典から学び取る。書体の変遷を理解するとともに、創造的に表現するための技能を身につけていく。	書のよさや美しさを感じとる能力を身につける。創作活動では、個性豊かに表現できる力をつけていく。書の伝統と文化という側面から書の美を味わい、深くとらえていく。	創造的作業の取り組みとして書の伝統と文化を意識しつつ、自己表現を主体的に行うことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 書の美を求めて 【知識及び技能】 文房四宝についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 用具のしくみの理解 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・教科書、用具見本 ・プリント ・p. 2～5、p. 8～9		○		○	・用具・用材のしくみ、扱いを理解している ・用具と表現効果や風趣との関わりを理解している ・主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 臨書の方法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 書風を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 用筆・運筆を学ぶ	・p. 12～17 .プリント　楷書の古典 唐の四大家		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 臨書作品の価値とその根拠について考える 【思考力、判断力、表現力等】 書の美しさについて考える	・p. 18～29 .プリント　唐の四大家		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
	A 楷書の学習 【知識及び技能】 古典の書表現を学び、自己表現に結び付ける 【思考力、判断力、表現力等】 書を愛好する心情を養う。	・p. 30～33 .プリント　北魏の書		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	2
2学期	A 行書の学習 【知識及び技能】 用筆・連筆を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・さまざまな行書 ・行書の特徴 ・中国の古典 ・半切作品		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	6
	A 行書の学習 【知識及び技能】 古典の書風と用筆の関わりを理解する 【思考力、判断力、表現力等】 字形・構成を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 日中の書の文化について理解する	・日本の古典 ・三筆・三跡 ・半切作品		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	10
	A 隷書・篆書の学習 【知識及び技能】 用筆・連筆を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 古典の価値・美しさを味わう	・隷書の用筆 ・篆書の用筆 ・身の回りの書		○		○	・古典の書かれた背景を理解している ・用筆による表現技能を身につけている ・古典の特徴について考え、主体的に学習活動に取り組んでいる	○	○	○	8

	A　書式の教室(硬筆) 【知識及び技能】 用具・用材のしくみを知る 【思考力、判断力、表現力等】 様々な書式で表現する 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書活動に取り組む	・手紙の書式 ・年賀状の書式 ・封筒の書式 ・慶弔袋の表書		○		○	・硬筆による表現技能を身につけている ・書式別による表現の工夫がなされている ・書式別の特徴をとらえ、主体的に学習に取り組んでいる	○	○	○	4
3学期	A　仮名の学習 【知識及び技能】 用具・用材について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 古典の表現を学ぶ 【学びに向かう力、人間性等】 料紙の美しさを味わう	・仮名の成立 ・仮名の種類 ・用具・用材 ・いろは単体と連綿			○	○	・仮名の成立について理解している ・用具のしくみを理解し、用筆の技能を身につけている ・古典の美しさを味わってとらえている	○	○	○	8
	A　仮名の学習 【知識及び技能】 様々な書式で表現する 【思考力、判断力、表現力等】 日本の文字文化について理解する	・古典の書 ・短冊の書式 ・色紙の書式 ・懐紙の書式			○	○	・仮名の成立について理解している ・用具のしくみを理解し、用筆の技能を身につけている ・古典の美しさを味わってとらえている	○	○	○	6
	A　漢字仮名交じりの学習 【知識及び技能】 用具・用材を工夫して表現する 【思考力、判断力、表現力等】 古典から創作への応用を主体的に学ぶ	・用具・用材 ・全体構成 ・鑑賞	○			○	・線質・字形・構成の要素と表現効果の関わりについて理解している ・主体的に学習活動に取り組もうとしている	○	○	○	6 合計 70

年間授業計画　新様式例

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科　外国語　科目　英語コミュニケーションⅠ

教　科：外国語　　科　目：英語コミュニケーションⅠ　　単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年　A 組～　F 組

教科担当者：(A,B,C:青木　亮輔)(B,C,D,E,F:髙橋　由衣)(E,F:島　恵子)(A,D:小渕　由香)

使用教科書：My Way Ⅰ　English Communication、Hyper Listening

教科	外国語	の目標：情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり、伝えあったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを目指す。
【知識及び技能】		外国語に関する理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】		目的や場面などに応じて、日常的・社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
科目	英語コミュニケーションⅠ	の目標：五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「聞くこと」「読むこと」「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」を中心とした発信能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて、適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	Lesson1 Proverbs around the World 世界各地の特徴的なことわざについて、理解して考えを深めることが出来る。 【知識及び技能】 ・紹介したいことわざについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・世界各地の特徴的なことわざについてレクチャーを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したいことわざについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・紹介したいことわざについてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・紹介したいことわざについて、相づちをうつ表現や質問の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・世界各地の特徴的なことわざを紹介するレクチャーについて、時制に留意して、時系列で内容を読み取る技能を身に付けている。 ・紹介したいことわざについて、現在形や過去形などを用いて、グループで話し合った内容を報告する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したいことわざについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・世界各地の特徴的なことわざについて、理解を深めるために、世界各地のことわざについて書かれたレクチャーを読み取り、概要や要点を把握している。 ・紹介したいことわざについて、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	Lesson2 Iwago Mitsuaki－An Animal Photographer 動物写真家である岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・図書室に飾る写真についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・岩合光昭さんの生き方や考え方についてのインタビューを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図書室に飾る写真について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・図書室に飾る写真について基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・野生動物の保護のためにできることについて、基本的な語句や文を用いて、書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・助動詞、受け身に関する事項を理解している。 ・理由を述べる表現の意味や働きを理解している。 ・動物写真家へのインタビューから、助動詞や受け身に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図書室に飾る写真について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・岩合光昭さんの生き方や考え方について、理解を深めるために、インタビューを読み取り、概要や要点を把握している。 ・図書室に飾る写真について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 ・図書室に飾る写真について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表して伝えている。 ・野生動物の保護のためにできることについて、読んで得られた情報などを参考にしながら、簡潔に書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

1学期	Lesson3 Sending Canned Mackerel to Space 高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・宇宙食として食べたいものについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・高校生が新しい宇宙食を開発した経緯について新聞記事を読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・宇宙食として食べたいものについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・宇宙食として食べたいものについてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・食べてみたい新しい食べ物について、基本的な語句や文を用いて、理由や根拠とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・動名詞、to不定詞の用法に関する事項を理解している。 ・相手の理解を確かめる表現の意味や働きを理解している。 ・宇宙食について、相手の理解を確かめる表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・高校生による宇宙食開発の経緯について、動名詞やto不定詞の用法に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・宇宙食として食べたいものについて、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・高校生による宇宙食開発の経緯について、理解を深めるために、新聞記事を読み取り、概要や要点を把握している。 ・食べてみたい新しい食べ物について、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	Lesson 4 Massages from Winnie-the-Pooh 『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・紹介したい日本の物語についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・『クマのプーさん』に込められたメッセージについてのプレゼンテーションを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したい日本の物語について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・紹介したい日本の物語についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・物語のキャラクターの好みについて、基本的な語句や文を用いて、理由や根拠とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・現在完了形、現在完了進行形、過去完了形に関する事項を理解している。 ・考えや意見をたずねる表現の意味や働きを理解している。 ・日本の物語について、考えや意見をたずねる表現や質問の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・物語の紹介について、現在完了形や現在完了進行形、過去完了形に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 ・物語のキャラクターの好みについて、基本的な語句や文を用いて、理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・紹介したい日本の物語について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・『クマのプーさん』に込められたメッセージについて、理解を深めるために、高校生によるプレゼンテーションを読み取り、概要や要点を把握している。 ・物語のキャラクターの好みについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	Lesson 5 Endangered Languages 消滅の危機にある世界の言語について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・学びたい言語についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・消滅の危機にある世界の言語についてのインタビューを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学びたい言語について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・学びたい言語についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・自分が使う絵文字について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・関係代名詞、It is ... to不定詞に関する事項を理解している。 ・主張する表現の意味や働きを理解している。 ・言語の学習について、主張する表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・絵文字について、関係代名詞などを用いて、説明とともに書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・学びたい言語について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・消滅の危機にある世界の言語について、理解を深めるために、インタビューを読み取り、概要や要点を把握している。 ・自分が使う絵文字について、読んで得られた情報などを活用しながら、説明とともに書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。				10

2学期	Lesson 6 A Wheelchair Traveler 車いすユーザーである三代達也さんの世界旅行の経験について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・日本の都市についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・三代さんの世界旅行の経験とそこで気づいたことについてのブログを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本の都市について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・日本の都市についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・日本語が不自由な人に対しての効果的なことば遣いについて、基本的な語句や文を用いて、理由や根拠とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is ... that ～ の表現に関する事項を理解している。 ・理由をたずねる表現の意味や働きを理解している。 ・日本の都市について、理由をたずねる表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・世界旅行の経験について、現在分詞・過去分詞の形容詞的用法、分詞構文、It is ... that ～ の表現に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・勧めたい日本の都市について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・三代達也さんの世界旅行の経験について、理解を深めるために、ブログを読み取り、概要や要点を把握している。 ・日本語が不自由な人に対しての効果的なことば遣いについて、読んで得られた情報などを活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1
	Lesson 7 The Fugees 難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・ボランティア活動についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯についてレポートを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・ボランティア活動についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・オリンピックのあるべき姿について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・関係副詞、比較級・最上級に関する事項を理解している。 誘う表現の意味や働きを理解している。 ・ボランティア活動について、誘う表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・難民の子どもたちへの支援について、関係副詞や比較級・最上級に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 ・オリンピックのあるべき姿について、関係副詞などを用いて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ボランティア活動について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯について、理解を深めるために、レポートを読み取り、概要や要点を把握している。 ・オリンピックのあるべき姿について、読んで得られた情報などを活用しながら、自分の考えを書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	Lesson 8 Avatar Robots 吉藤健太朗さんが開発した分身ロボットについて、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・未来の技術や製品についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・分身ロボットについて科学雑誌を読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・未来の技術や製品について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・未来の技術や製品についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・望ましいロボットのあり方について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・条件を表すif、仮定法過去、I wish ～、as if ～に関する事項を理解している。 ほめる表現の意味や働きを理解している。 ・未来の技術や製品について、ほめる表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・科学技術と製品について、条件を表すif、仮定法過去、I wish ～、as if ～に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 ・望ましいロボットのあり方について、条件を表すifなどを用いて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・望ましい未来の技術や製品について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・分身ロボットについて、理解を深めるために、科学雑誌の記事を読み取り、概要や要点を把握している。 ・望ましいロボットのあり方について、読んで得られた情報などを活用しながら、自分の考えを書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

3学期	Lesson 9 Kadono Eiko and the Power of Imagination 児童文学作家の角野栄子さんの作品と想像力の関係について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・ 高校卒業後の暮らし方についての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・角野栄子さんの作品と想像力の関係についての講演を読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高校卒業後の暮らし方について、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・ 高校卒業後の暮らし方についてグループで話し合った内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・物語によって心を動かされた経験について、基本的な語句や文を用いて、説明とともに書いて伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・SVO102（02＝how to ～）、SVO＋to不定詞、SVOC（C=動詞の原形、現在分詞）に関する事項を理解している。 反対する表現の意味や働きを理解している。 ・暮らし方の選択について、反対する表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 ・作家による講演について、SVO102、SVO＋to不定詞、SVOCの表現に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 ・物語鑑賞の経験について、SVOC（C = 現在分詞）の表現などを用いて、説明とともに書いて伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高校卒業後の暮らし方について、対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・角野栄子さんの作品と想像力の関係について、理解を深めるために、講演の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 ・物語によって心を動かされた経験について、伝える内容を整理し、意図を明確にしながら、書いて伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	Lesson 10 SDGs―Sustainable Development Goals SDGsに関するさまざまな問題について、理解して考えを深めることができる。 【知識及び技能】 ・SDGsについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取ることができる。 ・SDGsに関するさまざまな問題についてのプレゼンテーションを読み、概要や要点を把握することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SDGsについて、基本的な語句や文を用いて、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合うことができる。 ・SDGsに関する問題についてグループで調査した内容を基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。 ・SDGsに関する問題についてグループで調査した内容を基に、基本的な語句や文を用いて、発表のための原稿を書くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	・指導事項　本文読解、内容理解、音読練習、会話活動、本文に即した会話、音声指導、語彙指導　等 ・教材　教科書、ワークブック、単語帳、リスニング教材、教科書教材サイト ・一人１台端末の活用　等 　単元末でのふりかえり、中学での既習事項の確認アンケート、リスニング活動での使用、音読の録音、英作文課題　等	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・プレゼンテーションによく使われる定型表現の意味や働きを理解している。 ・SDGsに関する問題について、定型表現に注意しながら、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ・SDGsに関する問題について、定型表現に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・SDGsについての対話の概要や要点、必要な情報を、ワークシートを参考にしながら聞き取って捉えている。 ・SDGsに関するさまざまな問題について、理解を深めるために、プレゼンテーションを読み取り、概要や要点を把握している。 ・SDGsについて、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、主体的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査								○	○		1

105

年間授業計画　新様式例

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科　外国語　科目　論理・表現Ⅰ

教　科：外国語　　科　目：論理・表現Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(A,B:藤村　陽子)(C:島　恵子)(D,E,F:青木　亮輔)

使用教科書：BIG DIPPER

教科　外国語　の目標：	「情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力」を育成すること
【知識及び技能】	外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解を深めるとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて，目的や場面，状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目　論理・表現Ⅰ　の目標：英語学習の特質を踏まえ、三つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、「話すこと〔やり取り〕」「話すこと〔発表〕」「書くこと」を中心とした発信能力を育成すること

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッション、一つの段落の文章を書くことなどを通して、論理の構成や展開を工夫して話したり書いたりして伝える又は伝え合う技能を身に付けるようにする。	日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらのを活用して論理の構成や展開を工夫し適切に表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話［や］	領域 話［発］	領域 書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	Part1 Lesson1～4　英文の基本構造 【知識及び技能】 ・主語＋動詞の構造、動詞の用法、名詞・冠詞の用法、否定文や疑問文を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・伝えたい内容を適切な英語で伝えることが出来る。 ・日常行うことや、友人など身の回りの人、物事について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組む姿勢があり、英語の基本的な構造を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・主語＋動詞の構造 ・基本的な動詞の用法 ・名詞・冠詞の用法 ・肯定文、否定文、疑問文 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 主語＋動詞の構造を理解した上で、日常的に用いられる日本語の言い回しについて、英語でどのような動詞を用いるのかを理解している。名詞の性質や冠詞の用法を理解した上で文を作ることができる。英語で肯定、否定を表す分野、疑問文にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主語＋動詞、動詞や名詞・冠詞の用法・肯定文や否定文の使い方を理解し、適切に表現できる。 ・身近な場面において正しい英文の構造で言いたいことを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	Part2 Lesson1～2　Shool 【知識及び技能】 ・英語で勧誘、提案、依頼の聞き方や理由の聞き方、述べ方の表現を理解できる。 ・学校生活や教科について英語の表現方法を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・英語で勧誘、提案、依頼を行い、理由を聞く、述べることができる。 ・学校生活や教科について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・勧誘、提案の表現→Would you like to ～ ?, Let's ～ , Shall we ～ ?, Why don't we ～ ?, How about ～ ? ・依頼、理由の表現→Will you do me a favor?, Can you ～ ?, Could you (please) ～ ?, Why ～ ?, Because.... 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「勧誘」「提案」をするにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・英語で「依頼する」「理由を聞く・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「勧誘」「提案」「依頼する」「理由を聞く・述べる」表現に注意して、相手の発言の意味を理解して対話を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・学校生活についての表現を習得しようとしている。	○	○	○	2
	定期考査						○	○		1
	Part1 Lesson5～7　時制 【知識及び技能】 ・過去形、未来形、現在完了形を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りの人について英語で表現できる。 ・余暇の予定や計画などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・「現在の状態・習慣」「過去の状態・動作・習慣」「現在進行中の動作」「過去に進行中であった動作」→現在形、過去形 ・「未来」→will、be動詞＋going＋to ・「完了・結果」「経験」「状態の継続」「動作の継続」→have＋過去分詞 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・現在形、過去形、現在進行形、過去進行形、未来形、現在完了形、現在完了進行形を正しく理解し自分や話し相手の日常の行動、予定、自分や話し相手の経験ついて、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来形、現在完了形、現在完了進行形を用いて適切に表現できる。 ・個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・日常の行動や予定・経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。	○	○	○	7

	Part2 Lesson3～5 daily life 【知識及び技能】 ・英語で確認・訂正、心配を表す、助言を行うことができる。 ・英語で義務・必要を述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・余暇の過ごし方や体調などに関して、また家事についてなど、日常生活の事柄を英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・確認、訂正の表現→付加疑問, actually, You mean ～ ? ・心配、助言の表現→What's the matter?, I think you should ～, It would be good for you to ～ ・義務、必要の表現→need to, (don't) have to, be supposed to 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「確認」「訂正」の表現方法や、「心配する」「助言する」時の言い方、「義務」「必要」の表現方法を理解している。 ・余暇の過ごし方や趣味、家事への関与などついて，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 ・会話の相手の体調などついて，「心配する」「助言する」などの表現を含めて，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「確認」「訂正」「心配する」「助言する」「義務」「必要」の意味に注意して，相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・余暇の過ごし方や身の回りのこと、病気やけがの名称，症状や原因・状況，対処に関する語句や表現、家事を表す語句やその関与を述べる表現などを習得しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
	Part1 Lesson8～9　助動詞 【知識及び技能】 ・能力・許可・る医療・必要・義務・過去についての推量・後悔などを適切な土壌氏を使って英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・先生や学校での生活、催し物や行動などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・助動詞 　can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」といった各表現を正しく理解し身近な人に対して依頼したり、提案や必要などを伝えたり、過去の行動や状況などを推測したりして、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、助動詞　can, could, may, must, have to, should, shall, will, would, used to といった各表現を用いてコミュニケーションをとることができる。 ・「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」「過去に関する推量・後悔」に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・助動詞による丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを行おうとしている。	○	○	○	5
	Part1 Lesson10　文型 【知識及び技能】 ・「～は…に見える」「～に…を与える」「～を…にする」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・有名人などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・SV、SVC、SVO、SCOO、SVOC 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・SVC、SVOを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 ・SVOO、SVOCを正しく理解し、適切な場面で表現する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・第１文型から第５文型を用いて身近な人や場面を適切に表現し、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・各文型の役割や意味を理解し、特徴を踏まえたうえで身の回りの出来事について表現しようとしている。	○	○	○	3
	Part1 Lesson11　受け身 【知識及び技能】 ・「～される」「～に満足している」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・読書や感情に関連する事柄などについて、英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・be動詞＋過去分詞(+by～)，be動詞＋not＋過去分詞 ・助動詞＋be動詞＋過去分詞、be動詞＋being＋過去分詞、have been＋過去分詞 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・英語で「受け身」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・建物などの説明、オンラインショッピングなどの場面で、受け身の表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、be動詞＋過去分詞（＋by～）、be動詞＋not＋過去分詞、助動詞＋be＋過去分詞、be動詞＋being＋過去分詞、have been＋過去分詞を用いて「受け身」の意味を表現する。 ・「受け身」の意味に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・「受け身」を使用するのが適切な場面や状況を理解して、コミュニケーションを図ろうとしている。	○	○	○	3

2学期	Part2 Lesson6～9 Feelingsand plans 【知識及び技能】 英語で期待・確信・謝罪・計画・予定・感想を述べることができる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・インターネットに関して英語で表現できる。 ・失敗したことなどについて英語で表現できる。 ・旅行や休日の計画を英語で表現できる。 ・旅行などでの経験について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・期待、確信の表現→can't wait to, look forward to, be certain[sure] ・謝罪の表現→I'm sorry ～, Excuse me for ～ , etc. ・計画・予定の表現→be planning to, be going to, be thinking of ・感想→How did you like ～ ?, I found it ～ , My best experience was ～ 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」を述べるにはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・インターネットの使用、自分や他人の失敗、旅行や休日の過ごし方、旅行などでの経験について，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「期待」「確信」「謝罪する」「謝罪に応じる」「計画」「予定」「感想を尋ねる・述べる」の意味に注意して，相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「スマートフォンの適切な使用」「謝罪のときに気をつける点」「個人での旅行とグループでの旅行のどちらがよいか」「外国への旅行について，どこに行って何がしたいか」などの話題に対して，自分の意見やその理由などを正しく伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・インターネットの歴史や，長所・短所、自分の過失、計画、旅行での経験などを述べる表現などを習得しようとしている.	○	○	○	5
	定期考査						○	○		1
	Part1 Lesson12～13　to不定詞 【知識及び技能】 ・「～すること」「～する方法」「～するための…」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・希望や目標、物事を行う方法、助言や頼み事などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・to不定詞の名詞的用法、形容詞的用法、副詞的用法 ・原形不定詞 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・「～するために」「～して」「～すること」といった表現方法を理解して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 ・to不定詞と原形不定詞の違いについて理解し、適切に表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、S+V+O+to不定詞の構文を用いて「願望」「使役・許可」「命令・指示・依頼」などの意味や、S+V+O+原形不定詞の構文を用いて「…が～するのを見る（聞く）」などの意味を表現する。 ・to不定詞や原形不定詞の用法に注意して、個々の英文の内容を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・「目的」「原因」「判断の根拠」となる行為や、SVO＋(to)不定詞であらわされる行動の内容を述べる表現を習得しようとしている。				5
	Part2 Lesson10～11 【知識及び技能】 ・英語で程度・結果・願望・目的を述べることができる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・人の性格や特徴、職業などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・程度・結果→ so ～ that ..., ～ enough to do ・願望・目的→What do you want to do?, in order to do, would like to do, so that ～ , have a dream of doing 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「程度・結果を述べる」「願望」「目的」にはどのような表現を用いるのかを理解している. ・人の性格や特徴、将来の職業などについて，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「程度・結果」「願望」「目的」の意味に注意して，相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「交換留学生の友人への紹介」「交換留学生へのもてなし」「将来の職業」などの話題に対して，自分の意見・理由などを正しく伝える. 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・職業などを示す語句や，それに必要な資質を述べる表現などを習得しようとしている。 ・人の性格や特徴などを示す語句や，人を紹介する際の表現などを習得しようとしている。	○	○	○	3
	Part1 Lesson14～15　現在分詞 【知識及び技能】 ・「～している」「～しに行く」「～しているのを見る」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・休暇での出来事などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・SV＋～ing、SVO＋分詞 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・英語で「～している…」や「～された…」と名詞を説明する場合や、「～しながら…する」「～しているのを…する」などの意味を表すにはそれぞれどのような表現を用いるのかを理解している。 ・趣味や幼いころの思い出、情景などについて、分詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・適切な場面において、現在分詞、過去分詞を用いて、それぞれ「～している…」「～された…」と名詞を説明しる表現を行う。 ・適切な場面いおいて、SV+分詞の構文を用いて「～しながら…する」などを、SVO+分詞の構文を用いて「人が～しているのを…する」などを表現する。 ・現在分詞、過去分詞に注意して、個々の英文の意味を理解し、適切な思考・判断をもってそれに応答する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・分詞の後置修飾や、SVC、SVOCで表8限される内容の語彙などを取得しようとしている。				5

	Part2 Lesson12～13 Sympathy and gratitude 【知識及び技能】 ・英語で同情・共感する，励ますことができる。 ・英語で感謝・喜びの気持ちを述べることができる. 【思考力、判断力、表現力等】 ・悩みごとについて英語で表現できる。 ・送別の場面などについて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・同情・共感→What's bothering you?, I'm very sorry to hear ～ , Is everything all right?, etc. ・感謝・喜び→Thanks a lot for ～ , I'm glad ～ , etc. 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「同情・共感する」「励ます」「感謝」「喜び」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・悩みごとなどについて，「同情・共感する」「励ます」などの表現を含めて，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 ・送別の場面や，その他の日常の行為において，「感謝する」「喜ぶ」などの表現を含めてコミュニケーションを図る技能を身につけている 【思考力、判断力、表現力等】 ・「同情する」「 励ます」「感謝」「 喜び」 表現に注意して，相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・「励まされた経験」などの話題に対して，自分の経験や考えなどを正しく伝える. ・「自分が感謝すべき人」「贈り物の包みをその場で開けるか」などの話題に対して，自分の意見や理由などを正しく伝える. 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・自分の過失や不幸な出来事やを述べる表現などを習得しようとしている。また、学校生活の思い出や親切な行為を述べる表現などを習得しようとしている。				3
	定期考査						○	○		1
３学期	Part1 Lesson16～17　比較 【知識及び技能】 ・２つのものを比べて、「同じくらい～」「より～」ということを英語で表現できる。 ・「最も～」「２倍の～」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・動物の特徴や人の行動について、他と比較して英語で表現できる。 ・学校での活動などについて、他と比較して英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・比較級 ・最上級 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用				【知識及び技能】 ・比較級、最上級表現を理解して、コミュニケーションを図る技能を身に付けている。 ・数量の比較や自分の嗜好・価値観などの話題について，比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 ・学校での活動や図表の内容に関して，比較表現を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身の回りの事象について，〈as＋原級＋as〉や〈not as＋原級＋as〉を用いて「同じくらい～である」 や「…ほど～でない」 の意味を，〈比較級＋than〉を用いて「 …より～である」 の意味を表現する。 ・適切な場面において，最上級を用いて程度が最も高いことを表現する．また，それに伴い，比較の範囲や対象を表したり，序数詞を用いて「何番めに～である」と表現したりする。 ・適切な場面において，〈as ～ as〉の構文を応用して，「２倍の～」や「できるだけ～」といった内容を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・同等比較や比較級を用いての比較でよく用いられる語彙、最上級，倍数表現，〈as ～ as one can〉でよく用いられる語彙などを習得しようとしている。				5
	Part1 Lesson18～19　関係詞 【知識及び技能】 ・　「～する人/ 物」「…が～する人/ 物」などを英語で表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・近所の人などについて，簡単な説明を加えて英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・関係代名詞 what,who,which,where,when 〔教材〕 ・STOCK ・レッスンブック ・ワークブック 〔他〕 ・一人１台端末の活用		○	○	【知識及び技能】 ・　関係代名詞を用いて名詞を説明する表現や、関係代名詞 what や関係副詞を用いて「～すること，～するもの」，「～する場所［時，理由，方法］」という意味を英語で表現するにはどのようにすればよいのかを理解している。 ・家族・知人や身の回りの物、自分のほしいもの，四季のうちの1つ，自分が過ごしてみたい国などについて，関係代名詞を用いてコミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・　適切な場面において，関係代名詞を用いて，「人」や「物・事」を、また関係代名詞 what を用いて，「～すること，～するもの」や，「いわゆる」「さらに～なことには」の意味を表現する。先行詞と関係詞節内での動詞の呼応に注意する。 ・関係詞を省略する場合や，先行詞が前置詞の目的語にあたる場合に注意して表現する. ・適切な場面において，関係代名詞 what，関係副詞 where，when などを用いて，場所・時などについて表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。				5
	Part2 Lesson14～15 【知識及び技能】 ・英語で賛成・反対、意見を尋ねる・述べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境問題、社会問題について英語で表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組み、それぞれの表現方法を習得しようとしている。	〔指導項目〕 ・賛成・反対→ agree with, be in favor of ［against］～ , etc. ・意見を訪ねる・述べる→How do you feel about ～ ?, etc., It seems to me that ～ , etc., In my opinion, ～ , etc. 〔他〕 ・一人１台端末の活用	○			【知識及び技能】 ・英語で「賛成する」「反対する」「意見を尋ねる・述べる」にはどのような表現を用いるのかを理解している。 ・環境問題、社会問題などに関して，コミュニケーションを図る技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「賛成する」「反対する」「意見を尋ねる・述べる」表現に注意して，相手の発言の意味を理解して対話を行う。 ・社会問題や，プレゼント・行楽などの話題に対して，自分の意見や理由などを正しく伝える. 【学びに向かう力、人間性等】 ・上記の各項目について、積極的に取り組んでいる。 ・賛成・反対の意見を述べるときは，claim and reasoning（主張と理由づけ）を明確にする発言の仕方を習得しようとしている。自分の意見を述べるときは，説得力を持たせるために適切な理由を添えて述べる点を習得しようとしている.	○	○	○	3
	定期考査						○	○		1
										70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 家庭　科目 家庭基礎

教　科：家庭　　科　目：家庭基礎　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(A,B:土方　誠)(C,D:赤澤　愛)(E,F:椙山　美紅)

使用教科書：Creative Living　「家庭基礎」で生活をつくろう　大修館書店

教科	家庭	の目標：	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】			人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭及び福祉，衣食住，消費や環境などについて，生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】			家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】			様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目	家庭基礎	の目標：	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，実践的・体験的な学習活動を通して，様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉，衣食住，消費生活・環境などについて，生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　生涯を見とおして人生をつくる 【知識及び技能】 自己と他者，社会との関わりから様々な生き方があること，生涯発達の視点で青年期の課題を理解している。自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をすることの重要性や家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題，社会の関わりについて理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活，家庭や地域のよりよい生活を創造するために，男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために，実践しようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 生活のマネジメント １ライフステージと発達課題 ２意思決定と人生の選択 青年期の課題と自立 １青年期の発達課題 ２時膣の達成を目指す 家族・家庭生活のマネジメント １家族の定義と変化 ２家庭の機能と労働 ３法律から見る家族・家庭 ４ダイバーシティの実現を目指す 教材；教科書、資料集、 ワークシート	単元　生涯を見とおして人生をつくる 【知識及び技能】 自己と他者，社会の関わりから様々な生き方があることを理解している。自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行い，生涯を見通して，生活課題に対応し意思決定をしていくことの重要性について理解を深めている。生涯発達の視点で青年期の課題を理解しているとともに，家族・家庭の機能と家族関係，家族・家庭生活を取り巻く社会環境の変化や課題，家族・家庭と社会の関わりについて理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力等】 ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活，家庭や地域のよりよい生活を創造するために，男女が協力して家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど，生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，生涯の生活設計や青年期の自立と家族・家庭について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返ったりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	10
	単元　子どもの生活と保育 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子供を取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 子どもを生み育てることの意義や子どもの健やかな発達のために家族や社会の果たす役割の重要性について、問題を見いだすことができる。課題を設定し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 子どもの生活と子育てのマネジメント １子どもの時期の大切さ ２妊娠・出産と胎児の発育 ３乳幼児の成長と発達 ４子どもの生活と保育 ５子どもの健康と安全 ６親の責任と役割 ７社会で子育て 教材；教科書、資料集、 ワークシート 保育人形、模型等	単元　子どもの生活と保育 【知識及び技能】 乳幼児期の心身の発達と生活，親の役割と保育，子どもを取り巻く社会環境，子育て支援について理解するとともに，乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 子どもを生み育てることの意義や健やかな発達のために家族や社会の果たす役割の重要性についての問題を見いだすことができる。課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】	○	○	○	12

	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。	・一人１台端末の活用	様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，子どもの健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
1・2学期	単元　ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活を関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，ホームプロジェクトについて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ホームプロジェクトに取り組もう 教材；教科書、資料集、 ワークシート ・一人１台端末の活用	単元　ホームプロジェクト 【知識及び技能】 ホームプロジェクトの意義と実施方法について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，ホームプロジェクトについて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		○	○	3
2学期	単元　食生活と健康 【知識及び技能】 ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活，おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について生活と環境の関わりについて理解するとともに，自己や家族の食生活の計画・管理，目的に応じた調理に必要な技能を身に付け 【思考力・判断力・表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて，論理的に表現するなどして，自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとする。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 食生活のマネジメント １食事の役割 ２栄養素の働きと特徴 ３食品の選択と保存、衛生 ４栄養価の評価 ５持続可能な食生活 ６調理の技能と調理実習 教材；教科書、資料集、 ワークシート、 調理実習材料・用具 ・一人１台端末の活用	単元　食生活と環境 【知識及び技能】 ・ライフステージに応じた栄養の特徴や食品の栄養的特質，健康や環境に配慮した食生活について理解するとともに，自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 ・おいしさの構成要素や食品の調理上の性質，食品衛生について理解し，生活と環境の関わりを踏まえて目的に応じた調理に必要な技能を身に付けてい 【思考力・判断力・表現力等】 食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について、問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて，論理的に表現するなどして，自己や家族の食事を工夫し課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築と，食の安全や食品の調理上の性質，食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画，健康や環境に配慮した食生活について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	14
	単元　衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料，被服構成及び被服衛生について理解しているとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。		衣生活と健康 １衣服の働き ２衣服ができるまで ３衣生活の計画と管理 ４これからの衣生活 教材；教科書、資料集、 ワークシート、 被服実習材料・用具 ・一人１台端末の活用	単元　衣生活と健康 【知識及び技能】 ・ライフステージや目的に応じた被服の機能と着装について理解しているとともに，健康で快適な衣生活に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・被服材料，被服構成及び被服衛生について理解しているとともに，被服の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，被服の機能性や快適性について考察し，安全で健康や環境に配慮した被服の管理や目的に応じた着装について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。	○	○	○	10
	単元　住生活と住環境 【知識及び技能】	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等	単元　住生活と住環境 【知識及び技能】				

	ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	住生活と住環境 １「住まい」とは ２安全な住まい ３快適な住まい ４住まいの課題と未来の暮らし 教材；教科書、資料集、 ワークシート ・一人１台端末の活用	ライフステージに応じた住生活の特徴，防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解するとともに，適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて考察し，防災などの安全や環境に配慮した住生活や住環境についての問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	6

	【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。		【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，住居の機能性や快適性，住居と地域社会との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。				
	定期考査			○	○		1
3学期	単元　高齢期の生活 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付ける。 【思考力・判断力・表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することのの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 よりよい社会の構築に向けて，高齢者の自立生活の支援，家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員として共に支え合って生活することのの重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとする。		・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 高齢期の生活のマネジメント １高齢者を取り巻く社会 ２高齢者の心身の特徴 ３高齢や福祉の考え方 ４共生社会とは ５社会保障と地域福祉 教材；教科書、資料集、ワークシート ・一人１台端末の活用	単元　高齢期の生活 【知識及び技能】 高齢期の心身の特徴，高齢者を取り巻く社会環境，高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護、生涯を通して家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解しているとともに，生活支援に関する基礎的な技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 高齢者の自立生活を支えるために，家族や地域及び社会の果たす役割、家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することのの重要性について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築に向けて，高齢者の自立生活の支援，家族や地域及び社会の果たす役割、地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することのの重要性について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践的しようとしている。	○	○	○	4
	単元　持続可能な社会と消費生活 【知識及び技能】 ・自立した生活を営むために必要な家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理，消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定の重要性，消費者保護の仕組みなどについて理解するとともに，生活情報の収集・整理が適切にできる。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに，持続可能な社会へ参画することの意義について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性，自立した消費者として生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして，課題を解決する力を身に付ける。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について考察し，ライフスタイルを工夫する力を身に付ける。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて，生活における経済の管理や計画の重要性，自立した消費者として生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費、持続可能な社会と環境について，課題の解決に向けて主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，自分や家庭，地域の生活の充実向上をめざして実践しようとする。		・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 環境 １生活と環境のかかわり ２持続可能な消費 経済生活のマネジメント １経済的な自立と家計の構造 ２消費と契約 ３消費者信用 ４消費者の権利と責任 教材；教科書、資料集、ワークシート、 ・一人１台端末の活用	単元　持続可能な社会と消費生活 【知識及び技能】 ・家計の構造や生活における経済と社会との関わり，家計管理について理解している。 ・消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題，消費行動における意思決定や契約の重要性，消費者保護の仕組みについて理解するとともに，生活情報を適切に収集・整理できる。 ・生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解するとともに，持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性，自立した消費者として，生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 ・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう，安全で安心な生活と消費について考察し，ライフスタイルを工夫する力を身に付けている。 【学びに向かう力・人間性等】 様々な人々と協働し，よりよい社会の構築と持続可能な社会に向けて，生活における経済の管理や計画の重要性，自立した消費者として生活情報を活用し，適切な意思決定に基づいて行動することについて，　課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，自分や家庭，地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
						合計	
						70	

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 情報　科目 情報Ⅰ

教　科：情報　　科　目：情報Ⅰ　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(ACF:村井　厚美)(BDE:喜多　朗代)

使用教科書：情報Ⅰ　図解と実習

教科	情報	の目標：	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。
【知識及び技能】	情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについての理解を深める。		
【思考力、判断力、表現力等】	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。		
【学びに向かう力、人間性等】	情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。		

科目	情報Ⅰ	の目標：	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ，情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し，情報社会に主体的に参画するための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現，コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに，情報社会と人との関わりについて理解を深める。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え，問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する。	情報と情報技術を適切に活用するとともに，情報社会に主体的に参画する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報セキュリティを高める方法，情報社会を支える法律について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な事例から情報社会を意識し，基本的な情報モラルについて考える。 【学びに向かう力・人間性等】 よりよい情報社会の発展のために必要なことを意識する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元　情報社会を見渡してみよう 【知識及び技能】 情報セキュリティを高めるためにどのような方法があるか理解している。 個人情報や知的財産権，産業財産権は法律によって扱い方が定められていることを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 スマートフォンやSNSの活用について考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 進化する情報社会を具体的に自分事としてとらえようとしている。	○	○	○	8
	単元　メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアとコミュニケーション手段の発達について知る。 【思考力・判断力・表現力等】 インターネット上のコミュニケーション手段とその特性を生かす。 【学びに向かう力・人間性等】 ソーシャルメディアの特徴と活用する際の注意点を知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元　メディアとコミュニケーション 【知識及び技能】 メディアの進化について理解している。 ネットワーク上のコミュニケーションサービスの種類と特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 実際の場面で，どのようなコミュニケーション手段を用いればよいかを判断することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 ソーシャルメディアの利便性と問題点を正しく理解し，よりよい活用法を探ろうとしている。	○	○	○	8
	定期考査						
	単元　情報デザイン 【知識及び技能】 情報を伝える手段の特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 情報をうまく伝えるための情報デザインの考え方を学ぶ。 【学びに向かう力・人間性等】 情報デザインによる問題解決の流れを意識する。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元　情報デザイン 【知識及び技能】 情報を伝えるときに大切なデザインの基本について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 情報を伝える目的ごとに適した手段について考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 ブレーンストーミングやKJ法を用いて問題を主体的に見つけようとしている。 評価と振り返りの重要性について主体的に考えようとしている。	○	○	○	8
	単元　情報のデジタル化 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ２進法による表現ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 文字，音，画像，動画のデジタル化のしくみについて知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元　情報のデジタル化 【知識及び技能】 アナログとデジタルの特徴を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 数を２進法，10進法，16進法で表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 サンプリング周波数・量子化ビット数を変化させた場合の音の変化を考察しようとしている。 画像がデジタル化されるしくみや，光と色の３原色に興味を持とうとしている。 動画のデジタル化のしくみに関心を持ち，実習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	

2学期	単元 アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムの基本構造を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 アルゴリズムを図式化できる。 【学びに向かう力・人間性等】 プログラムとプログラミング言語について知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 アルゴリズムとプログラム 【知識及び技能】 アルゴリズムを構成する順次・分岐・反復について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 アルゴリズムをフローチャートでわかりやすく表現することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 さまざまなプログラミング言語について関心を持ち，その特徴について調べようとしている。	○	○	○	8
	単元 モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化の目的や方法について知る。 【思考力・判断力・表現力等】 シミュレーションによる問題解決ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 モデル化やシミュレーションの必要性を考える。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 モデル化とシミュレーション 【知識及び技能】 モデル化の目的について理解している。 それぞれのモデルの種類とその特性を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 パラメータを変えることによってよりよい結果を検討することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 モデル化が自分自身の生活でどのような場面で活用されているかを考えようとしている。 生活の中のシミュレーション事例を主体的に考え出そうとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	
	単元 情報通信ネットワークのしくみ 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 データ転送のしくみについて考える。 【学びに向かう力・人間性等】 情報セキュリティの考え方や対策方法について知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 情報通信ネットワークのしくみ 【知識及び技能】 情報通信ネットワークの基本的な構成について理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 情報通信ネットワークでデータがどのようにやり取りされているか説明することができる。 【学びに向かう力・人間性等】 情報セキュリティを確保するための技術を知り，情報通信ネットワークを適切に利用しようとしている。	○	○	○	8
	単元 情報システムとデータベース 【知識及び技能】 データの形式とデータモデルについて理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 データベースの考え方を踏まえて基本的な操作ができる。 【学びに向かう力・人間性等】 情報サービスとデータベースの関係を知る。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 情報システムとデータベース 【知識及び技能】 ビッグデータを活用することでどのようなことができるようになるかを理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 実例に応じてどのようなデータベースをつくり，どのように操作してデータを取り出すか考えている。 【学びに向かう力・人間性等】 情報サービスで解決できる課題について，自分の考えを深めようとしている。 データベースが必要となる場面やその構築例について自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	
3学期	単元 データの活用 【知識及び技能】 データ分析の基本的な方法について理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 データの収集方法，データの種類，データの整理の方法について知る。 【学びに向かう力・人間性等】 問題解決におけるデータの活用方法について考える。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・教科書 ・補助教材 ・スマートスクール端末	単元 データの活用 【知識及び技能】 数値データの集計やテキストマイニングについて理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 データの性質の違いを把握し，データの分析を行うことができるデータになっているかを考察している。 【学びに向かう力・人間性等】 データの分析を通して自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	

合計
70

年間授業計画　新様式

若葉総合高等学校　令和 7 年度　　教科 産業社会と人間　科目 産業社会と人間

教　科：産業社会と人間　　科　目：産業社会と人間　　単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ F 組

教科担当者：(A:小渕　田村)(B:松本　大西)(C:赤澤　青木)(D:喜多　村上)(E:西田　伊藤)(F:小檜山　小原)

使用教科書：―

教科	産業社会と人間	の目標：	① 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 ② 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 ③ 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。 ④ 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 ⑤ ２年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。
【知識及び技能】	社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 ２年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。		
【思考力、判断力、表現力等】	学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。		
【学びに向かう力、人間性等】	締切を守り、粘り強く取り組むことができる。		

科目	産業社会と人間	の目標：	① 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付ける。 ② 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 ③ 今の社会・これからの社会（将来）に関心を持つことができる。 ④ 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 ⑤ ２年次の選択科目を自分にとって正しく選ぶことができる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。	学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。	締切を守り、粘り強く取り組むことができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	26
2学期	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	28
3学期	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	・指導事項・教材 ・一人１台端末の活用　等 ・自作教材を活用した自己理解等 ・PCの活用方法を学ぶ基礎演習 ・Teamsを活用した課題配信 ・o365を活用した課題制作	単元　自立した社会人として 【知識及び技能】 社会に出て必要となる基本的な能力・態度を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力等】 学ぶこと・働くことの意義を考えることができる。 自己理解を高め、将来に向けた目標を考えることができる。 【学びに向かう力・人間性等】 締切を守り、粘り強く取り組むことができる。	○	○	○	16
						合計	70